

since 1974 ▶▶ 2024

50th  
Anniversary



一般社団法人 静岡県測量設計業協会  
— 50年のあゆみ —



一般社団法人 静岡県測量設計業協会

# 創立 50周年記念誌





# 車窓から地域の魅力を伝える

■ 伊豆縦貫自動車道 河津下田道路(II期)河津七滝IC

写真提供／国土交通省沼津河川国道事務所



## 絶景の一部になる

■ 富士川かりがね橋（新々富士川橋）

写真提供／静岡県富士土木事務所



この地で暮らす毎日をより快適に

■ 主要地方道 清水富士線 バイパス整備

写真提供／静岡市





## 自然の力を知り、寄り添う

■ H28治山(復旧)カギワ沢 山腹工 (静岡市葵区坂本)

写真提供／静岡県中部農林事務所



## 大地の力を生きる力に

### ■ 静波地区の茶園整備

写真提供／静岡県志太榛原農林事務所



### ■ 浜松市沿岸域防潮堤（浜松篠原海岸）

写真提供／静岡県浜松土木事務所

備えが明日の生命を守る



培った技で明日の生活を守る

■ 門島地すべり対策(浜松市天竜区春野町杉)

写真提供／静岡県浜松土木事務所

# 測る

## 観測する

## 発信する

地球を測り、環境を観測し、情報を発信する。

静測協は、静岡県下60社を会員とする

一般社団法人の団体です。

測量・調査・設計業の健全な発展を目指に、

経営・技術の研究、情報提供など

幅広く活動しています。

### 一般社団法人 静岡県測量設計業協会の使命と事業方針

静測協は、静岡県内の測量設計業者が組織し、測量設計業に係る調査研究、研修会等の開催、普及・啓発等に関する事業を行い、測量設計業界の健全な発展及び地位の向上を図るとともに、社会資本整備の推進に貢献し、もって静岡県産業の振興及び発展並びに公共の福祉の増進に寄与することを目的に、さまざまな事業を展開しています。

1. 測量設計業の技術及び経営の改善に関する調査研究
2. 測量設計業に関する法制及び施策の調査研究
3. 測量設計業の技術、経営等に関する研修会、講習会等の開催
4. 測量設計業の諸制度、経営等に関する情報及び資料の収集
5. 災害緊急時における技術援助の実施
6. 測量業に関する登録申請等に係る助言、指導、相談等
7. 関係機関等への要望、連絡、意見交換、提携等
8. 測量設計業の成果品の品質確保と向上に資するための事業
9. 企業経営としてのコンプライアンスの遵守と啓発事業
10. 測量設計技術者の倫理徹底と啓発事業

一般社団法人静岡県測量設計業協会  
会長

服部 岡明



（以下、静測協）は、今年創立50周年を迎えることができました。創立50周年に当たり多くのご来賓に参列いただきました記念式典を執り行うことができましたことは、私たち協会員にとりましても大変大きな喜びとなりました。

静測協は昭和49年6月に設立され、以来50年となります。この間に社会経済の変化に対応して、社団法人から平成24年度には一般社団法人へと移行して測量設計業の発展に努力して参りました。また、静岡県における社会インフ

ラ整備のための公共事業推進に協力して地域社会の発展に寄与することで、測量設計業の社会的地位の向上及び県民皆さまの信頼を得てこられたと思っています。これも静岡県をはじめとする発注者各位からのご指導・ご支援の賜物であると感謝申し上げます。

半世紀にわたる静測協の活動に尽力された歴代会長はじめ役員の方々ならびに会員各社に敬意を表するとともに皆さまに厚くお礼申し上げます。

振り返りますと高度成長期よりバブル崩壊後の日本経済の低迷は、経済活

## 地域の守り手

動を継続的に縮小させ、その結果、測量設計業務に関連する社会資本への投資、民間設備への投資などに継続的低下を招きました。右肩上がりの成長を続けていた日本経済の失速は、測量設計業の業態縮小にも連動し、とくに2000年以後は、公共事業の予算規模に対して、マスコミをはじめとして強い批判がみられるようになり、平成22年の業界の売り上げ規模は平成10年比の5割を下回るような所まで低迷しました。会員数は平成10年の89社をピークに現在60社となり、全体の三分の一の29社が減少しております。

スコムをはじめとして強い批判がみられるようになり、平成22年の業界の売り上げ規模は平成10年比の5割を下回るよう所まで低迷しました。会員数は平成10年の89社をピークに現在60社となり、全体の三分の一の29社が減少しております。

そのためには、現状における高度情報化の技術革新のDX（デジタル・トランシスフォーメイション）やL.P.データをはじめとする三次元点群データの活用など最新技術を活用できる技術力の向上にも努めなければなりません。

また、静岡県内に土木工学科が新設され土木技術者は地域の安心・安全を守る技術者で、静岡県の基盤を整える者との自覚を持つてその社会的地位を向上させるとともに、多くの高校生や大学生が憧れや誇りを持てる職業にしていかなければなりません。業界における少子高齢化という現状を打破して社会の期待に応えられる静測協であるように今後とも精進してまいります。

9月末に発生した「台風15号」による災害では、東部で93件、中部で351件、西部で229件、静岡県全体で673件となり、当協会員を中心に対応してきましたが、これ以上の災害への対応は難しかったとされています。また、南海トラフ地震や地球温暖化が進み線状降水帯による豪雨災害などに対応できない可能性があります。このことから現在の会員数が静岡県における必要最小限の会員数と考えております。我々静岡県の測量設計業を営む協会員が建設業や発注者の

皆さまとともに社会インフラの整備や計画を進め、老朽化した公共施設の点検整備や長寿命化などに携わることで、地域社会と連携しながら地元で活躍していくことがあります。このことが静岡県の公共施設の整備や維持管理だけではなく、静測協会員は地元に密着した地域の守り手であると考えております。

# 目 次

グラビア	2	これからの中の十年の在り方						
技術委員会ワーキンググループ	9	協会の使命と事業方針						
倉田 興治 (株)東日	10	創立50周年にあたり						
岩崎 幸也 昭和設計(株)	12	創立50周年に寄せて						
田中 寛 静岡コンサルタント(株) 地籍調査事業	13	鈴木 康友 静岡県知事						
石川 宣幸 (株)フジヤマ 國土基盤調査部	14	佐藤 寿延 國土交通省中部地方整備局長						
15	15	岩松 俊男 前(一社)全国測量設計業協会連合会会長						
第1章 協会と業界の今	16	創立50周年記念式典						
17	17	創立50周年記念祝賀会						
18	18	創立50周年記念講演						
19	19	藤井 聰 京都大学大学院工学研究科教授 テーマ執筆						
20	20	創立50周年を祝して						
21	21	下地 恒明 國土交通省国土地理院中部地方測量部長 測量設計業の課題と展望						
22	22	今村 鐘年 中部地区協議会会长 静岡県が目指す「VIRTUAL SHIZUOKA構想」						
23	23	増田 優一郎 静岡県交通基盤部政策管理局技監兼 建設政策課未来まちづくり室長						
24	24	25	26	27	28			
第2章 静測協50年のあゆみ	30	平成26年度～令和5年度の10年間の主な事業を見る						
31	31	静岡県土木積算定期・初級(前期・後期)研修会						
32	32	自治体等との災害協定締結と備え						
33	33	「測量の日」記念事業						
34	34	「倫理綱領」と独占禁止法遵守研修会						
35	35	測量設計業の生い立ち						
36	36	静測協50年のあゆみ(年表)						
37	37	測量設計業の生い立ち						
38	38	歴代役員の変遷						
39	39	委員会の推移と委員構成						
40	40	平成26年度～令和5年度						
41	41	協会組織図						
42	42	総売上高・会員数の推移						
43	43	44	45	46	47	48	49	50
44	44	45	46	47	48	49	50	51
45	45	46	47	48	49	50	51	52
46	46	47	48	49	50	51	52	53
47	47	48	49	50	51	52	53	54
48	48	49	50	51	52	53	54	55
49	49	50	51	52	53	54	55	56
50	50	51	52	53	54	55	56	57
51	51	52	53	54	55	56	57	58
52	52	53	54	55	56	57	58	59
53	53	54	55	56	57	58	59	60
54	54	55	56	57	58	59	60	61
55	55	56	57	58	59	60	61	62
56	56	57	58	59	60	61	62	63
57	57	58	59	60	61	62	63	64
58	58	59	60	61	62	63	64	65
59	59	60	61	62	63	64	65	66
60	60	61	62	63	64	65	66	67
61	61	62	63	64	65	66	67	68
62	62	63	64	65	66	67	68	69

# 創立50周年に寄せて

静岡県知事

鈴木 康友



一般社団法人静岡県測量設計業協会が創立50周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会は、昭和49年の設立以来、測量設計業に係る調査研究や普及啓発等の事業を行い、業界の健全な発展と地位の向上を図ることを通じて、社会資本整備の推進に貢献され、静岡県の発展と公共の福祉の増進に寄与されてきました。50年の長きにわたり、様々な活動に継続して取り組んでいただいていることに厚く感謝申し上げるとともに、歴代の正副会長や関係の皆様の御尽力に、深く敬意を表するものであります。

本県の建設産業は県内総生産の約5.2%を占めており、住宅や社会資本整備の「担い手」として、また、災害の発生に即応して地域の復旧・復興を担う「守り手」としても、大変重要な産業です。

中でも、皆様が携わる測量設計業務は社会資本整備の最初の段階に位置し、インフラの性能や品質、コスト等を大きく左右する極めて大切な業務

です。

一方で近年では、建設産業全体において就業者の高齢化が進み、将来にわたる担い手の確保が喫緊の課題となっています。加えて、本年4月から時間外労働の上限規制が建設業にも適用されるなど、大きな転機を迎えております。これから建設産業を目指す若者にとって、魅力的な業界になるよう、担い手確保・育成の取組と抜本的な働き方改革を一層推進していく必要があります。

こうした中で貴協会におかれでは、小学校で「地図教室」を行い、地図と測量の重要性を伝えるなど、建設産業の担い手確保に貢献していただいていることがあります。

また、近年、災害は激甚化・頻発化する傾向にありますが、令和4年9月の台風15号や昨年6月の豪雨などの災害が発生した際には、本県と貴協会との間で締結している災害協定に基づき、御対応いただきました。迅速かつ的確に測量・設計を実施していただいたことにより、早期に復旧等が行われましたことに改めて感謝申し上げます。

貴協会におかれましては、今後とも、測量・設計に関する技術力の向上などに積極的に取り組まれ、「オール静岡で幸福度日本一の静岡県を目指す」ためにも、公共事業推進の良きパートナーとして、一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍・御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。

平準化や週休2日の徹底など、働きやすい建設業界づくりに向けた働き方改革を推進してまいりますので、引き続き、御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、近年、災害は激甚化・頻発化する傾向にありますが、令和4年9月の台風15号や昨年6月の豪雨などの災害が発生した際には、本県と貴協会との間で締結している災害協定に基づき、御対応いただきました。迅速かつ的確に測量・設計を実施していただいたことにより、早期に復旧等が行われましたことに改めて感謝申し上げます。

貴協会におかれましては、今後とも、測量・設計に関する技術力の向上などに積極的に取り組まれ、「オール静岡で幸福度日本一の静岡県を目指す」ためにも、公共事業推進の良きパートナーとして、一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍・御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といった

一般社団法人静岡県測量設計業協会におかれましては、創立50周年を迎えたことを心からお喜び申し上げます。

国土交通省  
中部地方整備局長

## 佐藤 寿延



貴協会は昭和49年の設立以来、社会資本整備の推進に測量・調査・設計等の面から積極的に取り組まれ、産業の振興及び発展並びに公共の福祉の増進に寄与されてきたことに深く感謝と敬意の念を表します。

測量は、建設現場にとつては、最も基本となるものであり、まさに現場の土台となるものです。正確な測量のために、測量法を基点に様々な基準類が整備され、技術開発も行われてきました。測量を巡っては、特にDX技術の進展により、点群データによる測量や、レーザ測量、ドローンの活用など、新技術の進展には目を見張るものがあります。

さらに、昨年度よりBIM/CIMの原則適用が始まっています。調査・設計から、維持管理に至るまで、一貫

してデジタルデータをベースに管理していくのですが、この土台も測量になります。また、本年4月から建設業においても時間外労働の上限規制が適用されることから、生産性の向上のため、i-C Constructionに加えてDXの取組がより一層求められます。人口減少下において更なる建設現場の省人化対策を進めるために、「i-Construction 2.0」が4月にとりまとめられました。

測量も含め、DXの進展により、大きな変化・変革の波が押し寄せつつあるといえます。このため、担い手確保に加えて新技術に対応した測量士・測量士補の資格制度の見直しについて国土地理院では検討会を設けて今までに資格制度の改善案を取りまとめる予定です。少子高齢化が進む中、ありとあらゆる分野で生産性の向上が求められています。建設現場も

この元旦には、能登地方を中心に地震が発生し、大きな被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

我が国は、災害列島といつてよいほど、多くの災害が毎年各地で発生しています。特に近い将来の発生が懸念される南海トラフ地震や巨大津波に対して、長大な海岸線を有し津波到達時間が短いと予想される静岡県では、まさに喫緊の課題であり、災害が発生した場合に、迅速に対応するためには、建設に携わる方々の協力・尽力が不可欠です。

社会資本の整備や適正な維持更新はもとより、災害発生時の現場の測量など地域に根ざした静岡県測量設計業協会の皆様との連携・協力が不可欠であり、引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

# 創立50周年に寄せて

前一般社団法人  
全国測量設計業協会連合会  
会長

岩松 俊男



一般社団法人静岡県測量設計業協会が、このたび創立50周年の記念すべき年を迎えたことに、ここからお慶びを申し上げます。

静岡県測量設計業協会は、昭和49年6月27日に発足して以来、半世紀にわたり、着実な発展を遂げて来られました。この間には、幾多の試練もあつたことと思いますが、貴協会が現在のように発展されたのは、歴代会長をはじめ協会員の皆様のたゆまぬ努力の成果と、深く敬服する次第です。

測量設計業は、建設工事、公共事業の基盤を提供するものとして、国民生活を支える極めて重要な役割を果たしています。また、災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ、復旧・復興の最前線に立つ存在でもあります。最近では、毎年のように大規模な災害が発生するようになつており、住民の安全・安心な生活を支えるうえで測量設計業の果たす役割はますます大きなものとなつております。

全国測量設計業協会連合会（全測連）は、各県の測量設計業協会の連合

組織として、全国の測量設計業に携わる方が生きがいや使命感を持って業務を遂行していく環境を整備し、社会的に評価される業界づくりに取り組んでおります。そして、国土交通省との折衝などを通じて、安定した業務量の確保、技術者単価のアップ、入札制度の適切な運用等を図り、経営の安定化に努めています。静岡県測量設計業協会におかれましては、こうした全国連の活動に常に積極的役割を果たして頂き、深く感謝を申し上げる次第です。

測量設計業を巡る環境は、先端的な計測技術の展開により、急速に変化しつつあります。政府は、DXの推進による新たな社会資本整備に大きく舵を切つており、インフラのデジタル化、i-Constructionの推進は、我が業界にとって喫緊の課題です。また、働き方改革による勤務環境の改善と技術者等の確保は、高齢化が進み担い手不足に悩む我が業界

にとつて喫緊の課題となつています。

全測連では、これまで業界の事業領

域拡大を図るために、様々な取組を進めてきましたが、デジタル化等への対応、担い手確保のための支援、災害への備えなど、今後も様々な取組が必要です。全測連が、現状の諸課題を解決し、我が国の測量設計業の更なる発展を実現してゆくうえでは、服部会長を中心とした静岡県測量設計業協会の積極的参画が是非とも必要です。今後とも、全測連へのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。また、協会員の皆様におかれましては、社会情勢の変化に的確に対応して、県民・国民生活の幅広い分野において、これまで以上に積極的な役割を果たして頂きたく存じます。

結びに当たり、創立50周年を期に、貴協会の一層のご発展をご活躍、会員各位のご繁栄をここから祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

---

## 第1章

---

# 協会と業界の今

# 一般社団法人 静岡県測量設計業協会

## 創立50周年 記念式典

日時 令和6年5月14日(火) 14時30分～ 会場 グランディエールブケトーカイ(静岡市葵区)



一般社団法人静岡県測量設計業協会は、昭和49年に設立し令和6年に50周年を迎えた。

50周年の記念式典を5月14日(火)、静岡市内のグランディエールブケトーカイで開催した。

関係官公庁、関連団体から来賓83人を招き、会員・賛助会員から54人、合わせて137人が参加。節目の50周年を祝った。

ご来賓の皆様は、近年激甚化する自然災害への対応として、復旧・復興に向けた取り組みへの感謝、地域インフラの基礎を担う団体として地域に根ざした貢献などを祝辞とし、協会のさらなる今後の発展と技術力向上への期待を述べた。

50周年の協会活動への表彰では、静測協が国土交通省不動産・建設経済局長感謝状、一般社団法人全国測量設計業協会連合会会長感謝状を授与された。会長表彰として会員の鈴木達美氏、亀谷寧一氏が会長賞を受賞。静測協事務局長の望月良明氏が会長感謝状を授与された。また、静測協会長表彰では藤山義修氏、鈴木達美氏、松井藤雄氏、鈴木正明氏、市野篤史氏を表彰した。

式典終了後、記念講演として京都大学大学院教授の藤井聰氏が「歴史の謎はインフラで解ける！今の日本を創った土木、これから日本の土木を守る国土強靭化！」をテーマに1時間に渡って講演した。

その後、会場を移し開催した祝賀会では、始なごやかな雰囲気で懇親を深め、改めて50周年を祝った。

会長あいさつ

服部  
剛明

一般社団法人  
静岡県測量設計業協会  
会長



開会の辞

牧田  
敏明

一般社団法人  
静岡県測量設計業協会  
副会長



## 社会资本整備の根幹を担い 地域に貢献



## 来賓祝辞



参議院議員  
若林 洋平氏



衆議院議員  
塩谷 立氏



衆議院議員  
井林 辰憲氏



国土交通省中部地方整備局長  
佐藤 寿延氏



静岡県議会議長  
中沢 公彦氏



静岡市長  
難波 喬司氏



全国測量設計業協会連合会会長  
岩松 俊男氏



静岡県副知事  
増井 浩二氏

## 表彰状と感謝状贈呈



全国測量設計業協会連合会会長表彰  
鈴木 達美 鈴木設計(株)



全国測量設計業協会連合会会長  
感謝状(団体)  
(一社)静岡県測量設計業協会



国土交通省不動産・建設経済局長  
感謝状(団体)  
(一社)静岡県測量設計業協会



静岡県測量設計業協会会長表彰  
藤山 義修 (株)フジヤマ



全国測量設計業協会連合会会長感謝状  
(一社)静岡県測量設計業協会  
事務局長 望月 良明



全国測量設計業協会連合会会長表彰  
亀谷 寧一 (株)スルガコンサル



静岡県測量設計業協会会長表彰  
鈴木 正明 東静測量設計(株)



静岡県測量設計業協会会長表彰  
松井 藤雄 (株)松井測量設計事務所



静岡県測量設計業協会会長表彰  
鈴木 達美 鈴木設計(株)



閉会の辞  
藤山 義修前会長



静岡県測量設計業協会会長表彰受賞者



全国測量設計業協会連合会  
会長表彰・感謝状受賞者

# 創立50周年 記念祝賀会



開会の辞

静岡県測量設計業協会副会長  
齋秀之氏



全測連中部地区協議会会長  
今村 鐘年氏



国土地理院中部地方測量部長  
下地 恒明氏

来賓あいさつ



衆議院議員  
城内 実氏



衆議院議員  
小山 展弘氏



参議院議員  
足立 敏之氏



静岡県議会議員  
阿部 卓也氏



衆議院議員  
田中 健氏



衆議院議員  
渡辺 周氏



岐阜県測量設計業協会会長  
浅野 芳宏氏

乾杯

高らかに乾杯の  
祝杯をあげ、  
50周年を祝った

## 祝賀会の様子 終始なごやかに歓談



当日は天候に恵まれ、  
暖かい日差しが降り注ぐ



話がなごやかにはずむ



清水芸者の皆さん  
踊りを披露



終始なごやかに歓談し、50周年を祝った



一本締めで  
今後の協会発展を  
祈念

一般社団法人 静岡県測量設計業協会

## 創立50周年記念講演

# 歴史の謎はインフラで解ける

～今の日本を創った土木、これから日本の日本を守る国土強靱化～

### 都市は土木に 投資することで発展

50周年を迎えた皆さんに、今日は『歴史の謎はインフラで解ける』という本を紹介しようとお話しして、委員会や特別委員会を

講師 京都大学大学院工学研究科教授

藤井 聰氏

作って出版しました。いろいろなことが書いてありますが、簡単に言うと土木の語源である「築土構木」はもともと哲学書から出てきたという話です。

ゲーテの『ファウスト』という本がありますね。『ファウスト』のラストは、実は土木の仕事で終わっているんです。中国、ヨーロッパの古典でも、土木はものすごく重要な位置付けになつていて、そのことを紹介したい。あるいは、日本人、日本文化というと京文化があるのは京都に都があったから

で、都を作ったのは道路事業と下水事業です。土木事業がしっかりとできていなかつたら、京の文化もなかつたし、日本文化もなかつたのです。

あるいは、織田信長が日本を統一する時に道路事業をやつしたことがものすごく重大な意味を持つていました。彼が領土を大きく拡大していくのは農業土木に投資をしたからであると同時に、道路整備を進めたからだと言われています。道路をしつかり整備して経済成長させる。農業投資を通じて生産性を上げ、国力を増していくた。

当時の道路は、今の近代的な道路整備の計画理論を実は先取りしていいたなんてことも言われています。あるいは、『稻むらの火』という有名な話があります。和歌山県の広村というところの商屋で濱口梧陵という人がいました。ラフカディオハーンの本の中に出でてくるのですが、南海トラフ地震による津波が見えた時、丘の上にある稻むらに火を付けて逃げ道を示して村人を助けたという美談があります。これには後日談があつて、まず、その村が全部潰れてしまつたわけです。皆生き残つたけれども、津波で村が壊滅した。「このままでは皆仕事がない」と、濱口は資財を投げ打つて堤防事業を行つたのです。堤防を民間資金で作つて、地元の人達を土木作業員として使い、それにより賃金を提供しました。濱口のアイディアは、堤防を作ることで村に未来があることを見せつけると同時に、自分が持つているお金を皆に分配することです。それで、皆がお金持ちになつたら、そのお金を使ってその村はまた発展し、今でも広川町として残っています。これは1人二ユード

## 国土、静岡を守るために 土木インフラに投資を

### 日本の歴史は インフラが作り あげてきた

まさに日本の歴史は、インフラが作り上げてきている側面が濃密にあるということですね。現在、公共事業関係費は諸外国が伸びてゐるのに日本だけつと増加しています。それで、皆がお金持ちになつたら、そのお金を使ってその村はまた発展し、今でも広川町として残っています。これは1人二ユード

デイール政策、防災ニューディールです。これを今のがやるべきだと。明治時代以降は国土を考えると、昔は北前船が通つていた東海道新幹線沿線だけが発展していました。織田信長や京都の文化、江戸の町も土木の大事業を行つたから町が今もあるのです。それぞの都市は、土木投資をすることで発展をしてきたわけですし、さらに国土というのは、どういう交通インフラを作るかで、どこが大都市となるかが決まつてきているということです。

この理由の一つには、消費税を増税して全然減税しないという現実と同時に、インフラ投資を削つておこなうとする立場が成り立つた国は成長しません。日本だけすごく下がつてきています。一般的には事実があまり知られていませんが、我々学者は理解しているわけです。しかも、インフラ投資をしなければ、国が衰退するだけではなくて格差が広がります。貧しい国ほど格差がありますよね。豊かになつていつたら徐々に平等になつていくのですが、貧しい国は格差が広がります。東京一極集中ですね。日本は今、土木に投資をしていないから成長できずに衰退している。それと同時に東京一極集中が進んでいます。

この愚かな状況は、30年後には必ず歴史になります。今、我々は歴史の中を生きているのです。重要なのは楽観主義ではなく悲觀主義です。例を挙げれば、優秀な将军は『徹底的に悲觀的である』といふのが兵法の基本です。『こう

やつたらこう負ける』『こうやつたらこういう負け方がある』。全部理解した将軍だけが、あらゆる状況に対応して勝つことができるのです。悲観さのレベルが深い方が悲観さのレベルの深い方に必ず負けます。だから僕は日本がどう衰退していくかを注意深く想像しているのです。そう理解するからこそ、どうすればこの国が救われるのかが明確に見えています。簡単なのは、まず消費税を5%に下げ、その上で国土強靭化基本計画にも年間1兆円ではなくて、年間5兆円程度増やせばいい。国土強靭化純増5兆円となり、消費税が5%になつたら日本は復活するでしょう。

## 国土強靭化 基本計画により減災へ

現状のままで、南海・東南海トラフ地震が起こったとしましょう。静岡も大変なことになりますよね。その時どうなるのかをしつかりシミュレーションする。浸水箇所や家屋の倒壊、発電所などインフラ被害。どういう状況になる



### 藤井 聰氏 略歴

1968年奈良県生まれ。工学博士。

京都大学卒業後、同大学助教授、東京工業大学教授等を歴任し、京都大学大学院工学研究科（都市社会工学専攻）教授、京都大学レジリエンス研究ユニット長。第二次安倍政権では内閣官房参与（防災・減災ニューディール政策担当）も務める。専門は、都市・国土計画、経済政策等の公共政策論および実践的人文社会科学研究。数多くの論文を発表し、受賞歴多数。

か想定しなければなりません。これが脆弱性評価です。首都直下地震に関しても、被害をどのように具体的にシミュレーションするか。

かをやつたら国土が守れるのか、どうやつたら静岡を守れるのか、どうやつたら日本経済を守れるのか考へる。『ここに堤防を作つたらどうか』『ここに避難道路作ろう』などいろいろなことを考へるわけです。具体的なシミュレーションを把握した時に初めて、正確でより合理的な対策を立てることができる。こうして作るべきものが『国土強靭化基本計画』です。

どうやつて日本を守ることができるのかということをシミュレーションに基づいて作る。その上で、対策を立てる。そして、対策によりどれぐらい被害減ずることができるのを考える。色々研究して検査をして、『こういうもの作つたらこれだけ被害を減ずることができ』という想定をする。仮に20兆円かかったとしても、効果が100兆円、200兆円あるのだったら、やつた方がいいということを

学術的に、技術的に合理的に推計をする。これをやるべきだということを言い続けました。

南海トラフ地震が発生したら1400兆円、首都直下地震では700兆円の被害が見込まれる。けれども、こういうインフラ投資やつたら3割から4割減災できるということを明らかにしました。それが2018年です。それで2024年3月に報告書をまとめました。『国土強靭化定量的脆弱性評価報告書中間取りまとめ』です。

今年6月の予算がどれだけになるのか、ぜひ皆さん注目をしておいていただきたいなと思います。

そして、十分な事業量が確保されたりには50周年を迎えた皆様方の技術力をぜひ投入いただい

て、より効果的、効率的、迅速に我が国の強靭化のお仕事を進めていただきたいと思つております。

改めまして、50周年おめでとうございます。100周年、200周年に向けて、その頃には日本が豊かな国家となっていることを期待しながら、皆様方のますますの発展を祈念しまして、私の講演とさせていただきます。ありがとうございました。

かをやつたら国土が守れるのか、どうやつたら静岡を守れるのか、どうやつたら日本経済を守れるのか考へる。『ここに堤防を作つたらどうか』『ここに避難道路作ろう』などいろいろなことを考へるわけです。具体的なシミュレーションを把握した時に初めて、正確でより合理的な対策を立てることができる。こうして作るべきものが『国土強靭化基本計画』です。

どうやつて日本を守ることができるのかということをシミュレーションに基づいて作る。その上で、対策を立てる。そして、対策によりどれぐらい被害減ずることができるのを考える。色々研究して検査をして、『こういうもの作つたらこれだけ被害を減ずことができ』という想定をする。仮に20兆円かかったとしても、効果が100兆円、200兆円あるのだったら、やつた方がいいということを

# 創立50周年を祝して



国土交通省国土地理院  
中部地方測量部長

下地 恒明

一般社団法人静岡県測量設計業協会が創立50周年を迎られましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会は、創立以来今日に至るまで、測量設計分野における技術の向上や普及啓発などを通じて、静岡県の測量設計業の発展と社会資本整備の推進に多大な貢献をされてきました。これはひとえに、役員をはじめ、会員の皆様のご尽力の賜であり、心から敬意の念を表します。

境が大きく変化した時期でもあり、測量は、社会の進展に応じて新たな技術を導入しながら、時代の要請にこたえる成果を提供してきました。

今後も地理空間情報高度活用社会のさらなる進展にむけ、より広い分野で地理空間情報を利活用する社会の実現を支える基盤として、測量が担う社会での役割はますます重要なになります。

一方で、測量設計業界においては、若年測量技術者の確保や新技術への対応に伴う人材育成の継続が課題となつております。今後、社会情勢の変化や測量技術の発展に比例してより重要なになっていきます。

測量設計の専門家である会員の皆様には、測量分野において引き続き研鑽を積まれ、今後ともより一層業界の環境改善に取り組んで頂けますようお願い申し上げます。

これまでの社会情勢を振り返りますと、自然災害では従来の地理的・地形的な特性に加え、最近では気候変動に伴う災害が激甚化・頻発化していま

政府の基本方針でも、地理空間情報の充実・高度活用が必要な施策として策定されており、その一つである、社会の基盤となる「データベース」「ベイス・レジストリ」として、国土地理院の電子国土基本図が指定されたところです。さらに「ベース・レジストリ」であることを踏まえ更新頻度及び機械可読性の向上を図るとともに、国土全域を対象とした3次元化を実施するとしています。

国土地理院では、準天頂衛星システ

ム「みちびき」を含むGNSS衛星の活用を念頭に、航空重力測量による全国の重力データを整備し、より高精度な精密重力ジオイドを構築しています。今後は、その精密重力ジオイドを基盤としてGNSS標高測量による新たな標高体系を構築していきます。

会員の皆様におかれましては、私どものこのような取組に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

まさにこの間は社会を取り巻く環

# 測量設計業の課題と展望

(一社)全国測量設計業協会連合会  
中部地区協議会 前会長

今村 鐘年

一般社団法人静岡測量設計業協会におかれましては、創立50周年を迎えたことを、心からお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和49年6月27日に創立以来、半世紀に亘って着実な発展を遂げられましたことは、初代会長の青島茂一様はじめ前会長の藤山義修様、そして現会長の服部剛明様の歴代会長・役員の皆様並びに協会員の皆様方のたゆまぬ努力の成果と深く敬意を表すものであります。

この半世紀、私ども業界を取り巻く情勢を振り返ってみると高度経済成長期の公共事業の増大期には、測量業や建設コンサルタント業の登録制度が定められた事もあり、民間事業者の参入が増加してきました。しかし、公共事業費は平成10年前後をピークに減少傾向となり、平成20年代にはピーク時の半分程となる厳

しい状況となりました。これらに連動して採用の手控え等により技術者の減少と高齢化の課題が進む事となりました。

このような厳しい状況の中、貴協会は会員各社の技術力の向上や業界の発展に意を注がれ、現在に至つておられますことに改めて深く敬意を表します。

近年は、激甚化する自然災害により、防災・減災対策の面からも私ども測量設計業の役割が高まっています。

貴県におかれましては、令和元年の台風19号災害、令和3年の熱海伊豆山地区の土石流災害、昨年6月の豪雨災害など、頻繁に災害に見舞われており、それらに対する貴協会並びに協会員皆様方の迅速かつ着実な支援活動により、早期の復旧・復興に大きな貢献をされています。

このように、地域に根差した地元

の測量設計の技術者集団の支援活動の重要性は増大傾向にあり、その期待される役割は多様化、高度化しており、私ども測量設計業は将来に亘ってその役割を果たしていくかなければならぬと考えております。

災害支援対応の外にも、DX化への対応、働き方改革への対応含め人材の育成や担い手確保など、次の50年に向けての課題も数多くありますが、貴協会並びに協会員の皆様方におかれましては、社会情勢の変化に的確に対応して頂き、地域社会の幅広い分野において、これまで以上に積極的な役割を果たすため協会員一丸となり、地域の社会資本整備に貢献されるものと確信しております。

加えて、全測連中部地区協議会の活動にご理解を頂き、ご協力をお願ひしておりますが、静岡県測協が多面的に数々の取組みについても、ご指導・ご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

最後に創立50周年を期に、貴協会の一層の発展とご活躍並びに会員各社の増々のご繁栄、県政の発展に一層ご尽力されますよう祈念申し上げます。

# 静岡県が目指す

## 「VIRTUAL SHIZUOKA構想」

静岡県交通基盤部政策管理局技監 兼  
建設政策課未来まちづくり室長

増田 慎一郎

静岡県測量設計業協会の創立50周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。これまでの半世紀にわたるご尽力とご貢献に深く敬意を表します。測量設計業は、社会インフラの基盤となる重要な役割を果たしており、正確な測量と優れた設計が、地域社会の発展と安全・安心の確保に欠かせない要素となっています。特に静岡県は、地震や台風といった自然災害のリスクが高い地域であり、その対策としての測量設計業の重要性は他の地域以上に高いと言えます。今回、貴協会記念誌への寄稿という貴重な機会を頂きましたので、私からは、平

成28年度から3次元点群データの取得とオーブンデータ化を進め、仮想空間の中に県土を再現する「VIRTUAL SHIZUOKA」並びに、「VIRTUAL SHIZUOKA」を誰もが使えるように可視化した「次世代インフラプラットフォーム」について、御紹介します。

### 1. VIRTUAL SHIZUOKA

の準備として、行政情報のオーブンデータ化を積極的に進めてきました。このよう中、3次元点群データが「デジタルツイン」時代の新たなインフラとして、社会全体で活用されることを想定し、県土を3次元点群データにより縮尺1分の1の原寸で再現した「オーブンデータ・データセットVIRTUAL SHIZUOKA」として令和元年度から公開を始めました。この取組は、令和3年7月の熱海市伊豆山土砂災害発災の際には、オーブンデータ化の効果であるインターネット上からの様々な専門家による分析や知見の集約も相

静岡県では、東日本大震災の教訓の下、想定される南海トラフ地震へ

まって、崩落の状況把握、二次災害防止で活用されたことは記憶に新しいところではないでしょうか。

また、VIRTUAL SHIZUOKAは、災害活用に留まらず、ビジュアル化が容易な特性を生かして、VRを用いた観光疑似体験や、景観検討、文化財のアーカイブ化、森林のJ-Treeレジット化など、建設産業以外の部門でも広く活用され、新たなイノベーションを創出しています。この取組は、令和2年度に（公財）日本産業デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞2020」を受賞し、また令和3年度には全国知事会が実施するデジタル・ソリューション・アワード部門の大賞、さらには全部門の中から選出される先進政策大賞も受賞するなど、各方面で高い評価を頂いております。

従来、専門知識が必要であつた3次元点群データの閲覧・処理を職員や県民にも使い易くし、広く利活用の推進することを目的として、3次元点群データをWebブラウザで閲覧し、ダウンロードができる「次世代インフラプラットフォーム」の運

## 2. 次世代インフラ プラットフォーム



図-1



図-2

用を令和5年4月から開始しております。本プラットフォームは、本県と同様に3次元点群データを取得し、オーブンデータとしての活用を推進する東京都と共同開発し、双方にとつて使いやすいシステムとなるよう取り組んでおります。本プラットフォームの特徴は、大容量の3次元点群データを専用のソフトウェアを使用せずに、通常のパソコンやスマートフォンで地図を検索するように位置や角度、縮尺を変えて閲覧することができます。また、3次元点群データだけでなく、航空写真や微地形表現図等、様々なデータの閲覧も可能です。例えば、図1に示すと

おり、浸水想定区域を立体的に表現した垂直避難行動の支援や、図2に示すように、過去に海食によつて形成された有度山の海食崖が確認できるなど、普段見ることが難しい景色を確認することも可能です。

最後に、令和6年に被災した能登半島は、過去に石川県が取得した3次元点群データが関係者の御尽力により、「G空間情報センター」で公開され、本プラットフォームにより公開されたところです。本データは被災前の形状を残す貴重な測量データであり、その有効な活用が被災地の一日も早い復興・復旧に繋がるものと確信しております。

# これからの中の十年の在り方

技術委員会ワーキンググループ

(株)東日 興治 幸也 寛

倉田 岩崎 田中

昭和設計(株) 明野 宽

静岡コンサルタント(株)

## 1. はじめに

「十年一昔」。40周年記念誌に「現地状況伝達に機動力」と題して、測量業務へのICT技術の導入を見据えた寄稿をしてから、早いもので十年が経ちました。

寄稿では、災害査定手法の実証実験として、被災箇所の3次元化に取り組んだ事例を紹介しました。今日では当たり前になつて、①UAVと高所点検カメラを使った上空からの写真撮影、②点群処理ソフトによる被災箇所の3次元化、③査定会場において被災箇所をどこからでも確認できるような可視化を行いました。

その結果、査定官から被災状況を把握するためには有効な手段であるとの高い評価を得たことを覚えてています。

## 2. 十年間の進展

### (1) 私たちを取り巻く技術

あれから十年、私たちを取り巻くICT、建設DX等に関連する技術は著しく進展し、官民一体となって技術開発と利活用の促進に取り組まなければならぬ状況にあります。

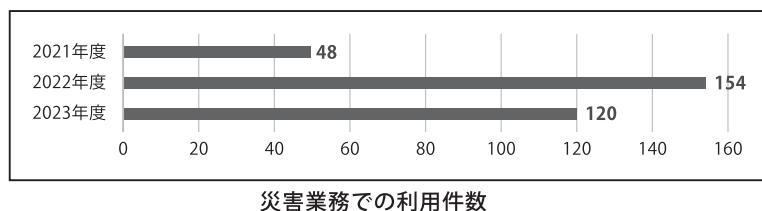
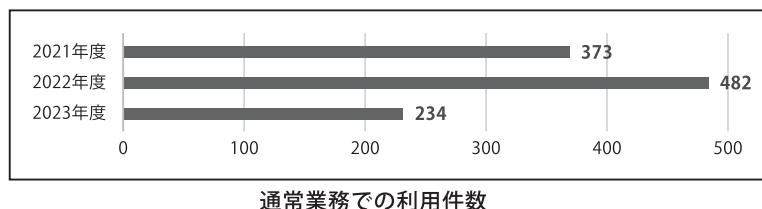
私たちがことばの示す意味と私たちに求められていること、得られる効果を理解し、業務に活用できるように取り組んでいかなければなりません。そのためには、ハードウェアとソフトウェアへの資本投資、人員の確保と技術者の養成が必要になります。私たちはこれを喫緊の課題と捉えることが重要であると考えます。

### (2) 点群利用に関する私たちの取組み

私たち、この十年間で多くの新しいことばを耳にしました。ICT(情報通信技術)、BIM/CIM(3次元モデルの活用)、i-Construction(建設現場でICTを活用する取組み)、建設DX(データとデジタル技術を活用し社会資本や公共サービスを変革する)、AI(人工知能)、LPデータ(航空レーザー計測により取得された地

形、地物の点群データ)、LiDAR(iPhone等に搭載されている点群計測機器)、CityGML(仮想都市モデルを記述するデータ形式)、VIRTUAL SHIZUOKA project(静岡県での3次元点群データを取得・蓄積し、オープンデータ化する取組み)などのことばが私たちを取り巻いています。

静岡県は、県全域を網羅するLPデータの整備を進め公開しています。また、私たちは、自社で点群データを取得するために地上型レーザースキャナー、UAVレーザースキャ



ナード、マルチビーム深浅測量機等点群取得機器の導入を進めています。点群データの利用状況を把握することを目的に、通常業務と災害業務での『3次元点群利用に関するアンケート』調査を実施しました。

2023年度の調査期間は4月～9月の半期ですが、2021年度から年々利用する業種や作業内容が増え、測量作業の安全確保と作業効率の向上等の効果を実感し、利用件数が伸びていることを確認できます。

### 3. 私たちに求められること

これから十年に向け、私たちは何を求められるのでしょうか。

- 点群データの活用分野を更に広げ、社会インフラ整備への利用を促進すると共にインフラ整備以外への利用を提案できる広い視野を持つ。
- 災害対応として、スピード感を持つ点群データを取得し、査定への過程を効率的効果的に進める。

- CityGMLに関する技術を習得し、「VIRTUAL SHIZUOKA project」の一環として進められている「台帳連携」、「都市データの構築」等に関わる。

私たちは、自身の技術的専門知識と豊富な実務経験を活かし、日々変化する社会からの要請と新技術等の動向を把握しながら、公益の確保に務めていく必要があります。

### 4. おわりに

現在、わが国では社会インフラの老朽化が課題になっており、その背景として維持管理・更新に必要な財源の



不足と対応する技術者・技能者の減少が挙げられています。測量設計業界も人手不足が深刻化しており、担い手不足、技術者の高齢化や若者への技術継承が課題になっています。

一方で、私たちは、激甚化、頻発化する豪雨災害や能登半島地震等大規模災害への対応が求められています。そこで、私たちは、県が推進する「VIRTUAL SHIZUOKA project」や「建設DX」等に関連する技術を習得し、効率的・効果的に業務を進めるこにより、「魅力ある業界」を作り、担い手不足の解消に寄与できるよう、日々の研鑽に取り組む責務があるのではないかでしょうか。

# 地籍調查事業

(株)フジヤマ  
国土基盤調査部

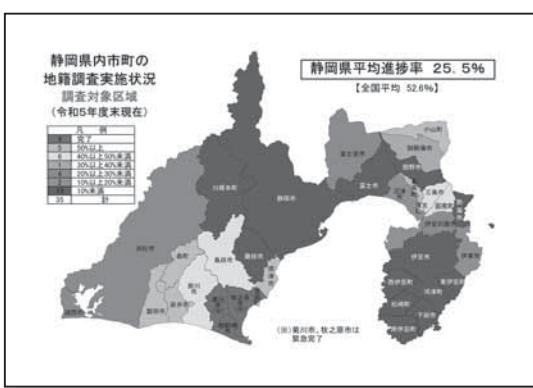
石川 宣幸

なぜ、今地籍調査が必要なの？

我々が住む静岡県は南海トラフ地震が来ると叫ばれて50年が経過しよう

何をするにも土地の境界確認が必要であり、所有者の確認が必要です。その為、土地所有者の境界確認をした地籍調査が必要です。

国土調査法に基づく地籍調査は、昭和26年に開始され徐々に実績を積み上げています。全国では、令和5年度末現在52%、静岡県においては25%となっています。気がかりとなるのは、前々から呼ばれている南海トラフ地震の発生が危惧される中、静岡県の津波浸水想定区域の進捗率は約83%と比較的高い状況であります。近年頻発する大雨による災害が



多く発生し、内陸部の要望も多くなっています。更に、細かく見ていくと、中西部地域において、古くから農業基盤整備事業が行われており東部地域と比較して進捗が図られています。

山地に目を向  
いう状況です。

県の実施方針によると、最優先は経済的損失が甚大である、津波想定区域の早期完了。次に防災・減災及び地方創生の観点から重要度や緊急性の高い地域を優先的に実施予定となっています。（県ホームページより引用）

では、近年問題になつてゐる土地所有者不明問題や土地の相続登記未了土地があり、所有者の探索に多くの時間を費やす結果となつてゐます。令和6年4月1日より、相続登記未了土地について罰則が設けられ、我々技術者は境界確認時に所有者へ提案をした方が良いと思われます。

近年は測量機器が発達し、静岡県による航空レーベー測量が県内全域で終了し、山地における地籍調査事業においてリモートセンシング技術を活用した地籍調査事業が行われる事が想像できます。よって、新技術の勉強も欠かさないよう努力しなければならないと感じます。以上現状の報告と今後の課題となってしまいましたが、皆様の経験と抱負な知識により地籍調査事業を推進して参りましよう。

## 地籍調査事業は土地の戸籍を調査

一般社団法人 静岡県測量設計業協会 創立50周年記念座談会

# 測量設計業の 未来を語ろう

## ～これからの測量設計業～

### 参加者

司会 建通新聞社静岡支社 浜松支局 根岸 修

#### 東 部

(株)東海建設コンサルタント  
道路事業部 課長

西島 岳彦 さん



静岡コンサルタント(株)  
技術一部設計二課

高山 芽唯 さん

#### 中 部

服部エンジニア(株)  
設計部設計1課 主任

渡部 尚紀 さん



昭和設計(株)  
企画推進部 地理空間情報推進室

川瀬 理子 さん

#### 西 部

不二総合コンサルタント(株)  
設計部道路課

島 史佳 さん



(株)フジヤマ  
防災・環境保全部 課長補佐

重松 克弥 さん

## 測量設計業の未来を語ろう

～これからの測量設計業～

### ●入社時期、担当業務は・・・



**司会** 本日は、「測量設計業の未来を語ろう」～これからの測量設計業～をテーマに、東部、中部、西部地区の各社から若手の皆さんにお集まりいただきました。気楽にお話してください。よろしくお願いします。

では、まず皆さんの入社時期と現在担当している業務についてお聞きしたいと思います。

**西島** 東海建設コンサルタント道路事業部の西島です。よろしくお願ひします。先ほど若手とおっしゃついていただいたのですが、もう中堅に入つてきている年代でして、入社年が2011年なので、14年目になります。

元々全然違う職種からこちらの世界に入つてきました。現在は、道路事業部で道路設計や歩道設計をしています。この他、災害防除関係に携わり、法面、落石防止の関係など比較的多岐にわたった仕事をしています。

**渡部** 服部エンジニアの渡部です。私は2014年に入社して、あつという間に時間が過ぎてしまい11年目になります。現在は設計部の道路班に所属し、主に道路の設計や道

路構造物の設計をしています。

**高山** 静岡コンサルタントの高山です。2022年に入社して3年目になります。担当している業務は電線共同溝の設計と造成関係の仕事をしています。

造成もいろいろなものがあるんですけど、今まで野球場のグラウンドの設計を手掛けました。この他、駐車場とその周りの遊歩道とか、河川の沿いの管理道路とともに少し設計に携わりました。今は防災公園も設計しています。

**重松** フジヤマの重松です。2016年に入社して、9年目になります。この業界に入った経緯は、大学で建築とか建設両方とも手

掛ける街づくりに興味を持って、地元で街づくりをしたいなと思って現在の会社に入社しました。仕事は、土砂災害に関する設計や調査、最近だとお城の石垣の設計なんかも手掛けています。熊本城の石垣にも携わりました。

**川瀬** 昭和設計の川瀬です。私は入社が2023年で2年目です。現在の仕事は、地理空間情報推進室に所属し、GISや3次元の点群データを使って台帳を作ったり、データ分析をしたりしています。あとは無人航空機、ドローンを使った調査もしています。

**島** 不二総合コンサルタントの島です。私は2019年に入社して、今年で6年目になります。入社してから最初の4年間は主に河川の護岸設計をしていました。去年部署異動して、今は主に法面防災や砂防関係の設計をしています。

### ●測量設計業に入職した経緯、印象は・・・

**司会** 皆さんのが測量設計業に入職されたきっかけを教えていただきたいのですが。高山さん、お願いします。

**高山** 大学の時に新入生歓迎会とかスポーツ大会とかを毎年企画するサークルに入つていて、いろんな人の意見を聞きながらものを作つていくことがすごく面白くて、就職を考えている時に、まちづくりだつたら住んでいる人の話を聞きながら仕事ができるかなと思って、それで土木の仕事にちょっと興味を持ちました。それと今も昔もすごく公園が好きなんです。公園には子供もいれば、お年寄り、高校生もいる。いろんな人がいるのがすごく面白いなと思って。公園を作りました。いつていう思いで設計の仕事につきました。

**司会** なるほどね。実際、公園の設計はさ





**高山** 今、防災公園に関わっているので、それができたら、ちょっとやりたいことができたかなって思います。

**司会** 渡部さんは、大学で建築を学んでいたそうですね。建築ではなく測量設計業に入られた経緯は。

**渡部** 地元が静岡市でして、結論から言いますと静岡市が好きだからですね。大学の専攻は建築だったのですが、大学4年生の夏休みに、長期で地元に帰ってきて、友達と遊んだり、地元で過ごしているうちに、やはり静岡で就職したいなっていう気持ちが強くなつて、東京で内定をもらつていた会社を断りました。

今の会社の選考の中で僕が子供の頃からいつも通つっていた静岡市内の国道4車線化整備を手掛けているのを聞いて、いろんな思い出が浮かんだりして、『自分だったらどうやって設計するのかな、そもそも道路って設計しているんだ』っていうところから興味を持つて、地元にも貢献したいと思い、この会社に入社することを決意しました。

**司会** 島さんはいかがですか。

**島** 私は大学が理学部の地球科学科で、大學に入学した時はこういう仕事があることを知らなかつたです。大学で1番仲の良かつた友達が土木学科で、そこからこの仕事を知つて、話を聞いていくうちに、普段使つてゐる公共施設を設計する仕事つていうのが楽しそうだなと思ってこの仕事に就きました。

**司会** 理学部つて何の勉強をされていたの

ですか。現在、設計のお仕事されているんですよね。

**島** 地球科学科で気象や地質学の基礎を学んでいて、卒業研究は活断層の研究をしていました。この会社に入つて法対策に関するようになつてから、大学で学んでいたことがちょっと役にたつているかなと思います。

**司会** ありがとうございます。皆さん色々な経緯で測量設計業に入職されてきたんですね。実際に、この測量設計業に入られて、印象はどうですか。

**重松** この業界のことが、大学の時にそれほどイメージできていたかと言われると、ちょっと自信はないのですが、今こう振り返つてみると、一見古くさそうに見えていたかもしれません。ただ今は、日々目まぐるしく変わる業界だなとは感じています。昨今言われるDXですか、新しい技術を活用して、作業効率を意識する、といったように。また、私が携わる土砂災害関係、砂防関係ですと、近年の災害を契機にして、自治体が取り組むべき課題も、今の気候変動や事例に対応するために、要求事項が変わつているように思います。この業界に飛び込んで、感じているやりがいとしては、日々変わるものに対応しながら、自分や社内の知識を持つて、オーダーメイド品を作つている面白さを感じています。

**司会** 西島さん、どうです。

**西島** 私は、入職の経緯が全く皆さんと違つていて、出身も法学部です。最初は、一般営業職に就きました。前職を退職後、当社で

の交通量調査などのアルバイトを経て入社しました。このような経緯なので、測量設計業の細かい部分のイメージは全くなかつたっていうのが実際のところです。

ただ、土木とか建設って、昔で言ういわゆる三K（汚い、きつい、危険）のイメージはちょっとあつたのかなと思っています。でも、入つてみると本当にいろんな技術が発展してきていて、測量一つにしてもどんどん技術進歩しています。3Dだつたり、ドローンだつたり。やりがいとしては、やっぱり自分で設計したものが形になつて皆さんを使つているところが見えるっていう部分かなと思つています。私の子どももそろそろわかつて来る年頃なので、「お父さんがこれを設計したんだよ」って、ちょっと自慢できる部分はありますね。

司会 川瀬さんいかがですか。

川瀬 私は去年入社したのですが、それまでは土木とかあまり勉強していなくて、知識もなかつたです。入職して初めて、道路とか橋とか身の回りに測量設計業の仕事が関わっているものがたくさんあることに気付きました。去年、下水道台帳の仕事をしたので、それからは道を歩いていてマンホールが目に入るようになって。『日常生活に近いところにある仕事なんだ』ということを実感しています。あと、災害ですね。入社する前の年に台風15号災害があつて、「災害対応がすごく大変だつたんだよ」と先輩から聞くことが多ないので、災害の時に復旧に関わる仕事なんだということがあらためてわかりま

した。あとは、県内のいろんな地域の仕事を関わることがあるので、実際にいろんな場所に行つて、他の地域のことを知ることができるのが、働いていて面白いなど感じています。

## ● DXなど近年の仕事は変化している・・・

司会 ありがとうございます。皆さん入社歴が数年の方から10年以上の方もいらっしゃいます。渡部さんは入社して10年経たれていますが、以前までは平面図の等高線や単点から判断して作成していました。ですが、最近は県のLPデータだつたりとか、レーザー測量した3次元データをソフトに取り込んで、線形を入れることで瞬時に作成することができます。取りたいところで何本も切れるつていうのがあって、業務効率化に繋がっておりますが、具体的に変化を感じることつてありますか。

重松 自分も入職してもうすぐ10年経ちますが、少し前まで最新だと思っていましたが、以前と比べて仕事の進め方も変わつてきていると思います。DXも進んできていますが、具体的に変化を感じることつてあります。

渡部 設計している中でDX化を感じることは、3次元測量したデータの活用かなと思っています。概略設計や予備設計で路線測量が行われない場合や、路線測量を実施し



## 自分の設計が形にして見える仕事

西島 岳彦さん



## DX推進でよりよい働き方へ

高山 莉唯さん

なっています。また、やはりコロナ禍を契機にウェブ会議が当たり前になつたのは、非常に大きいですね。ちょっととした打ち合わせであれば、お互いの拠点でできる。業務に合わせて拠点をいろいろなところに置きながら、それぞれの場所で仕事ができるというは大きい変化ですね。

**司会** 日々変化しているという話があつたのですが、高山さんや川瀬さん、島さんは入職されて数年ですが、これからDXとか業界がこんな風に変わっていくのかなと思うことはありますか。

**高山** 電線共同溝の設計をする時には、地下の埋設物がすごく重要なんです。設計もミスできないし、もちろん施工する時も正確な埋設物の位置がわかつていた方が絶対にいいと思うので、発注者、国とか県とか市、測量設計業者、施工業者全てが3次元に対応できるようになつて、埋設物の管理も全部3次元になつたら、ミスがなくなるのかなつて思うので進めていくてほしいなと思います。

**司会** 島さんの話ですか。

島 もしかしたらもうなつてきているのかかもしれないのですが、斜面の設計をしていて、アンカーの配置を検討する時に、3Dで検討できればすごくやりやすいんじゃないかと思います。アンカー同士が重なるかどうかイメージしやすいというか。そんなに経験のない人が想像した時に、わかりやすいのかなと思います。



**川瀬** いろいろなソフトを使つていていますが、さまざまな機能があつてまだ使いきれないと思うことがあるので、ソフトに対応できるように勉強していかなきやいけないと感じています。あと、いろいろな最新技術について、「こんなこともできるかもしれない」みたいなことをいろんな人と話す場があつたらしいなと思っています。

#### ●女性が活躍していくために・・・

**司会** 若い方でも、デジタルに関して苦手な方も結構実はいらっしゃると思います。ベテランになると、若い子は『データ使うのに慣れているだらうな』と思っているかもしれません。実際は『これどうやってやるんだろうな』と思う若い方も多分いっぱいいらっしゃると思います。ありがとうございます。

今日は若手の皆さんに集まつていただきていますが、担い手不足がどこの業界でも課題になつています。その中でも、女性の活躍ができます。男性と女性の違つて、1番は出産があるかないかだと思つていて。でも、男性で育休を取得している人が社内にいて、半年ぐらい休んでいたんです。それにすごいテラノードになると、若い子は『半年も休んでいいんだ』と思っていました。

私も去年結婚して、子供も欲しいと思つ

ていますが、男性も産休が取れるようになつたのはすごくいいなと。それが当たり前になれば素晴らしいと思います。

心配な点としては、昔に比べて減つたのかもしれないですが、やっぱり繁忙期は残業があるので、産休から復帰するに当たつては、仕事も育児もと考へると大変だなと思いま

す。働き方改革が進んで、業界全体で『ちゃんと休みを取ろう』とか『残業時間を少なくしよう』という動きが出てきたのはすごく嬉しい思つています。

**司会** ありがとうございます。川瀬さんお願いします。

川瀬 女性が少ないと自分の将来像とかも想像しづらいですし、もっと増えてほしいなとは思いますね。

が今後さらに大切になつてくると思います。女性が活躍するのに測量設計業の中でどんな環境が必要か、こうなつてもらいたいとお話を聞きたいと思うのですが。高山さんいかがですか。

**高山** この業界自体、多分女性は結構増えていると思うんです。私の所属する部署は課長も女性で、他部署にも女性技術者がいるので働きやすくなつていています。

高山さんいかがですか。



### ● これからの業界の変化は・・・

**司会** 建設コンサルタントっていうと、経営コンサルタントと思っている人も結構いるようですね。そういうことも含めて、建設コンサルタント、測量設計業がこういう仕事だと紹介していく必要があるかもしれないですね。ありがとうございます。

DXとか女性活躍とか、業界全体が大きく変わっているところをお話いただきたいと思います。

なふうにこれから変わっていくのかなっていうようなところをお話いただきたいと思います。

西島 そうですね、業界の全体で先ほどからお話を出しているように、DXや働き方改革、女性活躍といろいろ変わってきてますね。

女性活躍は今後もさらに期待されているところなのかなと感じています。災害派遣や現場での仕事についてもまだまだ偏見を持つていてる方もいる実感があるのですが、女性だから男性だからではなくて、お互いに働きやすい環境を整えていくのがまず大前提だと思います。それが男女問わず担い手確保に繋がっていくと思います。

個人のあり方としては、ここ2、3年で管理技術者になりまして、直属の部下を持つようになりましたが、教える時間がなかなか取れないところが悩みです。自分の業務を効率化して、若手技術者や同僚に頼られる存在になつていいと思っています。あと3D設計等にもどんどん挑戦していくつもりで、若い方を育てる、若い方がどうしたら気分よく働いてもらえるか、そういうことを考えていかなければならぬないと感じています。

**司会** ありがとうございます。高山さん、島さんはどうですか。

島 私の会社では女性が増えてきて、部署でも3分の1ぐらいが女性です。休みも取りやすくなつてきていると感じていますが、去年、一昨年は結構災害業務が多くて、その時はやっぱり早く対応しないといけなくて残業が増えます。今後、子育てなどをしたいと思った時に、仕事と育児が両立できるのかなって思うこともあります。川瀬さんがおっしゃっていたように、測量設計業界を知らない人が多いので、まず知つてもらつて、やりたいと思う人が増えたらしいなと思います。

また、中堅になつたとはいえ、先輩方もたくさんいらっしゃって、お話を聞く機会もある中で、「まだまだ未熟だな」という感じの部分もありますし、受け身の仕事だけでなく、県や国に『こうした方がいいんじゃないか、こういうのやりたいよ』ってこちらから提案しながら能動的に進めていたらいなとは思っています。

**司会** ありがとうございます。では渡部さんお願いします。

渡部 発注時期による業務量の平準化については、本当に業界全体としてさらなる改善をお願いしたいと思います。それによって、測量設計業のワークライフバランスを整えることができると思います。

それから、可能なものに関しては本当にペーパーレス化を推進していただきたいと思います。僕が入社した頃に比べると、紙の成果報告書の提出がかなり少なくなつたと思いますが、オンライン電子納品と合わせて紙もある状況です。早くできるところはペーパーレス化してほしいなと思います。

個人のあり方としては、ここ2、3年で管理技術者になりましたが、直属の部下を持つようになりましたが、教える時間がなかなか取れないところが悩みです。自分の業務を効率化して、若手技術者や同僚に頼られる存在になつていいと思っています。あと3D設計等にもどんどん挑戦していくつもりで、若い方を育てる、若い方がどうしたら気分よく働いてもらえるか、そういうことを考えていかなければならぬないと感じています。

**司会** ありがとうございます。高山さん、

お願いします。

**高山** 残業時間を見直すことを業界全体で目標にしてほしいし、『そのためにDXを進めるんだよ』っていう流れになれば、みんながいろんな施工方法についてコンサルも発注者も取り組んでいけるのかなと思うので、働き方を良くするためにDXが進んでいけばいいなと思います。

個人的にはDXに全然触れられてないのでも、仕事で取り入れるために自分で勉強していくって、いろんな業務をどんどんこなして、どこで使えるをこれから勉強していきたいなと思っています。

**司会** ありがとうございます。重松さんお願いします。

**重松** 本音を言うと、残業問題については、時間を削減することだけに注視するのではなく、それぞれのライフサイクルにあわせて柔軟になればいいなと感じています。ツールや制度を駆使して効率化・省力化するように取り組むことは必要だと思います。ただ、がむしゃらに仕事を頑張りたい時、育児や趣味に没入したい時など、ワークライフバランスは、人によって時々刻々と変わると思います。働き方改革が、そうした波を妨げるのではなく、より大きな波になるように応援できる仕組みになると良いと思います。

**高山** 残業の話がでましたが、私は入社3年目で同期が6人いるのですが、時間をかけて仕事をしている人の方がやっぱり成長しているなって思つてしまふことがあります。残業は必要な時にしているのですが、『今

が頑張り時だな』って思います。例えば、今後リモートワークとかできるようにするために『今力をつけとかなきや』とか。例えば、『この業務のこの検討には時間をかけたい』とか、そういうことをしつかり、時間をかけてやっている人の方が、なんとなく傍から見ても成長できているなど感じています。單純にかけている時間が多いからっていうよりは、量や質も含めて、集中しているから多分成長して見えるのかなと思います。

**司会** ありがとうございます。島さん、お願いします。

**島** 私も最近「残業を減らして」と言われるのですが、『この検討は時間かけてやりたい』と思っても残業を減らさないといけないということで、ちょっと悩むことがあります。もつと上手に時間を使えたらしいなと思つています。あと、こうなつてほしいということは、自分の仕事を説明するときに伝わらないこ

**司会** では、最後にこの業界にこれから入ってこようと思っている若者に一言お願いします。

**西島** 私は、文系人間で入ってきてここまで14年やつてっています。文系、理系学生の時に勉強したことに関わらず、『地域発展に貢献したいな』って少しでも考えているところがあれば業界に入ってきてもらつて、一緒にこういう業界を盛り上げていけたらいい

とが多く、この仕事を知らない人が多いと感じることがよくあります。今まで仕事上で、「女性だからできない」と感じたことはないので、イメージが変わつていってこの仕事が知られて、女性でも活躍できる仕事だと思つてもらえたならうれしいです。

### ●これから測量設計業に就く 若者に一言・・・



## 時代に取り残されない 設計者に

渡部 尚紀 さん



## 女性入職のため、 業界の知名度UPを

川瀬 理子 さん



### 測量設計業は女性でも活躍できる仕事

島 史佳さん



### 生活の基盤を作る仕事、確かなやりがいがある

重松 克弥さん

司会 本日はありがとうございました。

んじゃないかなという風に考えています。

高山 『何か地域のために働きたい』とか『このまちが好き』とか、そういう思いがあれば誰でもできる仕事だと思います。私の会社の同期も全然土木を学んだことのない人がいるのですが、専門的に学んでいなくても

『できるんだ』と思いました。誰でも入職してから勉強することはたくさんあるので、本

当にこの街が好きだったり、この街のために働きたいって思う人はぜひ設計と測量の業界に入ってきてほしいなと思います。

渡部 最近、会社で採用にも関わるようになりまして、学生と関わる機会が多くなったのですが、人材確保が困難な状況のなか、土木学科ではない人も選考を受けてほしいという思いから採用の幅を広げつつあります。学生からは、『土木を学んでいないから不安』とか、『興味を持っているけど入社して本当

に大丈夫かな』っていう声が上がります。ただ、私や西島さんもそうですが、土木学科というのは強みにはなりますが、入ってから何をするかが絶対に重要だと思います。

川瀬 なので、専門的な知識は気にせず、測量設計業に興味持ってくれて、『地域の発展に貢献したい』って思う人はどんどん入ってきてほしいなって思っています。

川瀬 私も土木を勉強していたわけではないのですが、入つてから勉強すればいいっていうのは皆さんのおっしゃる通りだと思います。今までの話にもあつたように、DXとか新しい技術とかがどんどん進んでいくので、入つてからどうしたって勉強しなきゃいけないことはあると思います、同年代の若い人が増えて一緒に頑張つていけたら嬉しいなと思っていますので、いっぱい若い人が入つてくれたらいいなと思います。

島 私もこの仕事で、自分が設計したもののが残るっていうのがすごくやりがいに感じています。あと、この仕事をやってみて計画通り進めていくっていうのがすごく大事だなって感じていて。私は学生の時はなんでも時間かけてやることが多かったので、計画通りに進めるっていうことを学んでおけばよかつたっていうことを思っています。私も大学では土木を学んでなかったんですけど、大学で学んでなくともこの仕事をやっていっているので、業界に興味がある人はどんどん入つてきてほしいと思います。

重松 「地図に残る仕事」とよく言いますが、この業界は地図を作っている人もいれば、地図に載らない街の一部を作る人もいる。ただ、どれも確実に僕たちの生活の基盤を作っているのは確かな業界だと思うので、やりがいは絶対にあると感じています。

また、話は変わりますが、私自身、大学で都市計画系を学んでいましたが、今では土砂災害のことを仕事にしています。大学では、今の仕事に関わる地質学や水理学についてはギリギリで単位をとりました。当時は『絶対に自分は都市計画を仕事にするんだ』って思つてあまり力を入れて勉強していなかつた分野ですが、今ではそれらを主力の武器に仕事をしています。学生さんには、自分で自分の可能性をあまり狭めすぎないでほしいなと思います。

島 私もこの仕事で、自分が設計したもののが残るっていうのがすごくやりがいに感じています。あと、この仕事をやってみて計画通り進めていくっていうのがすごく大事だなって感じていて。私は学生の時はなんでも時間かけてやることが多かったので、計画通りに進めるっていうことを学んでおけばよかつたっていうことを思っています。私も大学では土木を学んでなかったんですけど、大学で学んでなくともこの仕事をやっていっているので、業界に興味がある人はどんどん入つてきてほしいと思います。

---

## 第2章

---

静測協50年のあゆみ

# 静岡県土木積算定期・初級(前期・後期)講習会

(旧名 静岡県土木積算S・E選定講習会)

## 667名が技術的パートナー

### オンラインで電算帳票作成

この講習会は、「静岡県土木積算S・E(SMILES・ENGINEER制度)に基づくものであり、県民の安全安心を守る公共事業の迅速な発注を設計積算の委託者と受託者が連携して取り組むとともに、地元業界職員の資格取得の励みとなるものであった。この制度が正式に発足したのは、平成4年7月1日からだった。土木工事の積算の一部を民間企業が受け持つ、全国でも初めての画期的な県独自の資格制度である。

静岡県が土木工事の積算業務を電算化させたのは昭和56年からであり、この制度の構想が持ち上がったのは、昭和63年だったが、静測協は翌年の平成元年には制度の発足を前提にした「土木積算講習会」を開催し、県土木部設計検査課と連携を取りながら、この制度の運営実施母体として本格的な準備を始めた。平成4年度には協会内に新たな「土木積算運営委員会」を立ち上げ、当時の会長の豊田江一郎氏を委員長にして運営に万全を期した。現在、静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課の指導の下、「調査委員



令和5年8月23日に開催された令和5年度土木積算初級(前期)講習会

会」においてS・E選定の前期と後期の2回に分けた「初級講習会」を開き、最後に確認の筆記試験を実施し、この結果を県技術調査課担当者が参加した「土木積算システム運営委員会」において協議して合格者案を決め、県技術調査課長が承認した者で「土木積算S・E登録申請書」を登録した者に土木積算S・Eパスワードが交付される。また、既存の資格取得者についても、積算体系の改訂と資格者としての

名滅っている。なお、静岡県と同様の積算システムを導入し、「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を締結している御前崎市・袋井市・浜松市・掛川市・森町・菊川市・富士宮市・藤枝市・焼津市・松崎町、島田市、伊豆の国市、富士市、川根本町の14自治体があり、この10年間で4市町が増えている。

責務を熟知するように定期講習会も開催している。令和5年度は、10月25日に土木積算システム運営委員会が開かれ、47人が合格した。

この土木積算S・Eは、制度発足後32年を経過し、ここ数年の受験者は40～50名程度で推移している。令和5年度までの合格者数は1,897人、このうち令和5年10月現在、資格者として静測協に登録されている者は667人(会員543名)とこの10年間で71名減っている。

なお、静岡県と同様の積算システムを導入し、「土木積算S・E選定要領に関する覚書」を締結している御前崎市・袋井市・浜松市・掛川市・森町・菊川市・富士宮市・藤枝市・焼津市・松崎町、島田市、伊豆の国市、富士市、川根本町の14自治体があり、この10年間で4市町が増えている。

## 自治体等との災害協定締結と備え

## 地域と暮らしの再建出動

県5団体・34市町、県外6団体と締結

## 災害協定書締結先

平成26年4月から令和6年3月末現在

・磐田市長 平成26年7月24日  
 ・(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会  
 平成26年7月31日

・西伊豆町長 平成26年8月4日  
 ・静岡県道路公社 平成26年8月22日  
 ・袋井市長 平成26年9月30日  
 ・湖西市長 平成27年1月19日  
 ・富士宮市長 平成27年7月16日  
 ・(公社)鹿児島県測量設計業協会

平成28年8月3日

・南伊豆町長 平成28年8月24日  
 ・静岡県経済産業部7農林事務所長(山地  
 災害、治山施設等の災害、農地農業用施  
 設災害)の再締結 平成30年3月28日

・静岡県教育委員会教育長

平成30年3月29日

・東伊豆町長 平成30年6月22日  
 ・松崎町長 平成30年12月19日  
 ・長泉町長 平成31年1月16日  
 ・下田市長 平成31年3月8日  
 ・静岡県企業局 令和元年11月15日

・函南町長 令和2年3月5日

・伊東市長 令和2年7月17日  
 ・伊豆市長 令和2年10月19日  
 ・御殿場市長 令和3年10月18日  
 ・熱海市長 令和3年12月9日  
 ・(一社)山梨・静岡・神奈川県測量設計業  
 協会の3者による広域災害応援協定締結  
 令和3年12月17日  
 ・裾野市長 令和4年2月4日  
 ・(一社)愛知・岐阜・静岡県測量設計業協会  
 の3者による災害応援協定の見直し再締結  
 令和5年6月2日

この協定の目的は、異常な自然現象や予期できない事故により災害が発生した場合やその恐れがある場合に、社会の混乱を防ぎ、県民や市民の救助活動と災害復旧活動に寄与するため、必要な測量設計等の業務を迅速に実施することによって、公共土木施設などの機能の確保と回復を図ること

静測協は、平成17年3月末に静岡県土木部(現・交通基盤部)の14出先事務所と災害協定書(災害又は事故における測量設計等業務委託に関する協定書)を締結して以来、令和4年2月までに裾野市と協定書を締結、これで県交通基盤部・経済産業部7農林事務所、県道路公社、県教育委員会、県企業局と県内35市町のうち34市町と締結。この10年間では3団体・16市町と締結した。

この協定の目的は、異常な自然現象や予期できない事故により災害が発生した場合やその恐れがある場合に、社会の混乱を防ぎ、県民や市民の救助活動と災害復旧活動に寄与するため、必要な測量設計等の業務を迅速に実施することによって、公共土木施設などの機能の確保と回復を図ること

島県測量設計業協会と災害時応援協定を締結し、3者による毎年の意見交換会を行い、顔の見える関係を構築し、いざという時に備えている。しかし距離的には遠距離の為、令和3年12月に隣接県である全国測量設計業協会連合会関東地区協議会所属の(一社)山梨県測量設計業協会と(一社)神奈川県測量設計業協会との3者による災害応援協定を締結し、既に締結している全測量設計業協会との3者による岐阜県測量設計業協会と(一社)愛知県測量設計業協会との3者協定と合

わせ県外からの応援に万全を期した。また、公共土木施設災害復旧事業に迅速に取り組む必要から、平成16年2月17日に「災害復旧に関する技術研修会」を県土木部土木防災室職員を講師に初めて実施した。平成21年度から災害・環境委員会が設けられ、事業計画に「災害復旧事業に係る技術講習会」として毎年行われるようになった。現在は、災害対策委員会が「災害復旧事業技術研修会」を担当しており、令和4年度からZoomによるオンライン研修会として、協会と静岡県庁及び会員を結び、より多くの会員職員に受講してもらい、自然災害の頻発化・激甚化・広域化に対応するとともに、災害協定を締結した市町等の要請に応えるように取り組んでいる。

## 「測量の日」記念事業

# 「6月3日は「測量の日」記念講演」

## 測量と地図に親しむ地図教室開催――

量設計協会中部地

鹿島建設(株)土木管理本部土木企画部ダイ  
バーシティ推進担当部長 須田久美子氏



静岡大学防災総合センター長/教授 岩田孝仁  
氏



回にも講師を依頼した静岡大学防災総合センター長・教授の岩田孝仁氏に現時点の対応について「減災から防災社会へのテーマでの講演と、女性技術者が増えていくことを期待することから、鹿島建設株式会社土木管理本部土木企画部ダイバーシティ

県内の小学校等の子供たちを対象にした「地図教室」



展示ホールに配置された「伊能忠敬の伊能図」と測量機器

岩田氏は、減災で良しとすると、対策もこの程度で良いと甘えになる。防災の原点である被害「ゼロ」を目指し、遭遇したら自助・共助に努めることを強調した。須田氏からは建設土木の業界にも女性の進出が少しずつ進んでいること。女性が現場に増えるとどんなメリットがあるのか、女性を増やすためには何をすべきか、女性技術者の働き方を紹介してくれた。

行つた。また、各県内においては小学校等の子供たちを対象に「地図教室」を毎年開催しており、県内での開催は今までに46校団体である。

推進担当部長の須田久美子氏に「女性技術者を増やそう!—ドボジヨ、ソクジヨの働き方を考えるー」のテーマで講演していただきことを計画した。両氏には、それぞれ1時間30分ほど講演をお願いした。会場の静岡県男女共同参画センター』ア

置して、壁側には一般社団法人熊本県測量設計コンサルタンツ協会借用の熊本県災害記録パネルや静岡県地震防災センター借用の地震災害パネルの展示、そして、静岡どぼくらぶ(静岡県)・建設NOW(静岡市)のパネル展示も行い災害や測量と地図について関心を深めていただいた。

## 「倫理要綱」と独占禁止法遵守研修会

### 悪しき習慣を断ち

### 正しい価値観を守る

(一社)静岡県測量設計業協会倫理綱領

測量設計業は、公共事業のもつとも基礎的分野を担い、発注者(事業者)とは技術的パートナーの関係にある。同時に地域住民も忘れてはならない。発注者と県民からの信頼は、測量や設計自体の成果品の品質に対してはもちろんだが、企業としての姿勢、技術者としての心構え、受注の仕方、業務の進め方に求められるのは当然である。

全国測量設計業協会連合会が、平成13年度に「独占法遵守合同キャンペー」ンを行い、翌年9月に全国の責任者による「独占法遵守フォローアップ会議」を開催し、15年10月47都道府県の会長署名による「全国会長独占法遵守」を宣言するなど、協会の事業活動として推進している。

#### 1. 資質の向上と品位の保持

会員は、本協会及び会員の社会的地位の向上のため資質の向上と品位の保持に努めなければならない。

#### 2. 技術者としての権威の保持

会員は、常に技術の向上に努め、発注者に対し、技術的信念の基に業務の遂行に当らなければならない。

#### 3. 公正の維持

会員は、測量設計業務の公共性に鑑み、常に厳正中立の立場に立って業務を行い、公正を欠くことのないよう特段の注意を払わなければならぬ。

#### 4. 秘密の保持

会員は、発注者から受けた業務の処理上、知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

#### 5. 不当競争の禁止

会員は、業務の受注に当たり、不当な競争をしてはならない。

#### 6. 相互協力

会員は、業務の遂行に当り、必要のあるときは、会員相互の技術提携あるいは他の専門家の協力を求めないように努めなければならない。

#### 7. 法令等の遵守及び名譽保持の義務

会員は、業務の遂行に当り、必要のあるときは、会員相互の技術提携あるいは他の専門家の協力を求めないように努めなければならない。

岡県建設業室長を講師に独占法遵守研修会を開催し、それ以降、毎年度欠かすことなく独占法関係の講習会を実施し、会員に周知徹底を図ってきた。平成13年度には、協会の組織に「独占禁止法遵守委員会」を設け、遵守のためのコンプライアンス・マニュアルを全会員が策定するなど、重要な協会の事業活動として位置づけてきた。

平成15年には、法令遵守に加えて、企業倫理・業界倫理を確立しようと、「静岡県測量設計業協会倫理綱領」を制定、ダンピングや独占法違反を断ち切り、公正性・透明性、中立性を貫き、また、企業間の競争は技術力、経営力、企画力によってなされるものだと、測量設計業の

岡県建設業室長を講師に独占法遵守研修会を開催し、それ以降、毎年度欠かすことなく独占法関係の講習会を実施し、会員に周知徹底を図ってきた。平成13年度には、協会の組織に「独占禁止法遵守委員会」を設け、遵守のためのコンプライアンス・マニュアルを全会員が策定するなど、重要な協会の事業活動として位置づけてきた。

現在、研修会は静岡県建設関連業団体の(一社)静岡県測量設計業協会、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会・(一社)静岡県地質調査業協会との合同開催により実施している。また、令和4年度からは公正取引委員会中部事務所から講師を招き、最新情報も取り入れた分かりやすい説明をしていただき、会員の理解が深められている。

(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会・(一社)静岡県地質調査業協会との合同開催により実施している。また、令和4年度からは公正取引委員会中部事務所から講師を招き、最新情報も取り入れた分かりやすい説明をしていただき、会員の理解が深められてい

## 戦災復興

在野の測量技術者が担う

# 測量設計業の

## 生い立ち

昭和20年8月、第2次世界大戦が終結し、戦災で焦土と化した主要都市、管理者不在で荒廃した農地や山野、そうした中で国土の現状把握とその再建、復旧が急がれた。これらのために調査と測量は緊急かつ膨大な事業であった。

これらに対して従来の官公庁直営方式では技術者の不足に直面し、やむを得ず採られたのが外注方式である。この外注の要請に応じて協力したのが、当時在野にあつた測量技術者であった。

### 測量法制定

昭和24年6月3日

#### 設立総会 静測協発会式

昭和49年5月18日 会員49名  
静岡市ふしみやビル



### 全国組織の設立

昭和35年に業界の発展めざし

昭和24年6月3日、法律第188号により測量法が制定、公布された。こうした終戦直後の混乱期に、戦前にはなかつた「ユニーク」な存在として出現した測量業界は、復興事業をはじめ諸般の公共事業の先駆的作業の担い手として、年ごとに増大する事業量の消化に努力してきた。

全国的には昭和27年に航空写真撮影が再開され、民間測量会社に「カメラ」や「図化機」など一連の写真測量機が整備されていった。昭和34年2月、全国で会員15社をもつて日本測量連盟が創設され、翌昭和35年9月17日、測量設計業界全体の発展をめざして、連盟から脱皮し、改組して、ここに「全国測量業協会」が設立され、静岡県からも数社が加盟した。

## 測量法の一部改正

登録制と業務の規則を規定

昭和36年6月1日、法律第106号をもって「測量法の一部改正」が交付された。改正の主旨は、測量の実施体制の変化に即応した法の所期の目的を達成するため「測量業の適正な運営とその健全な発展を図る」とするもので、具体的には「測量業者の登録とその業務の規則」であつた。

### 76社が団結

昭和49年、静測協発足

静岡県の公共事業に測量設計業が関わり始めたのは、昭和33年9月、県東部地区に甚大な被害をもたらした狩野川台風、翌年の伊勢湾台風など度重なる災害に県の技術職員では対応できないこととなり、災害復旧工事の現況測量、用地測量を外注したのがはじめだつた。以後、大規模な道路、河川改良工事について測量ばかりではなく、逐次設計業務も外注され、その委託量も次第に多くなり、技術力、受注能力の強化に迫られ、昭和49年6月、静岡県内の測量設計を営む76社が大同団結して「社団法人静岡県測量設計業協会」を設立し、社会資本整備などの公共事業に協力することとなつた。

### 一般社団法人認可

平成24年4月1日登記

平成24年3月静岡県知事から一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律に基づき一般社団法人として認可され、現在の協会定款は平成24年5月14日から施行され現在に至る。



昭和 52 年度	昭和 51 年度	昭和 50 年度	昭和 49 年度
11 10 9 7 5 4 16 25 13 29 30 26 27	3 12 10 9 7 6 4 1 28 28 21 16 15 14	3 10 9 8 4 27 17 5 8 23	2 11 9 7 6 6 5 6 28 27 9 28 27 18
通常総会 定款の一部変更（定款第8条第5号追加、第9条第2号削除） 定款の一部変更認可（静岡県知事） 「測量諸経費率改善」を県土木部長・都市住宅部長に陳情 臨時総会 社団法人全国測量業団体連合会（全測連）に入会 全測連発足総会に正副会長が出席 経営者及び経営担当者講習会 「円高について」講師－東京銀行清水支店・野村英一氏 「心と形」講師－静岡大学教育学部教授・辻弘氏 1・14に発生した伊豆大島近海地震で測量設計の技術協力を申し出る	通常総会 役員改選 「事業の早期発注」を県庁各課に陳情 伊豆地方の7・11豪雨災害見舞に下田土木事務所を訪問 山本県知事、高橋信義氏 全員懇談会・経営者研修会「話し方と人間関係」 講師－酒井広氏（NHK特別アナウンサー）終了後懇談 「事業量増大の陳情書」を県土木部長ほか関係部長に提出 開発行為とこれに伴う土木設計 講習会 講師－県担当課職員	山本県知事、諫訪副知事を訪ね諸問題を陳情 「測量事業量増大の陳情書」を発注者に提出 第1回技術講習会「急勾配小河川の設計」 講師－中部地方建設局技術管理課長ほか 経営者及び営業担当者講習会 講師－（財）静岡経済研究所・高橋信義氏 講師－（社）教育演劇研究協会劇団たんぽぽ主宰・小百合葉子氏 全測連発行の測量標準単価表を発注機関に配布	創立総会（静岡市ふしみやビル） 会長－青島茂一、副会长－大月春安・中江昭二就任 社団法人設立許可（静岡県知事） 臨時総会・発会式（静岡市ふしみやビル） 協会の登記完了（事務局・静岡市西替町2-1-7-10西村ビル） 第1回経営者及び営業担当者講習会「中国をとりまく国際情勢」 講師－豊原兼一氏（NHK論説委員） 道路設計講習会 講師－中部地方建設局技術管理課長ほか 「公共測量の発注にかかる陳情書」を発注機関に提出
・県、都市住宅部都市整備課内に下水道室を設置 ・大井川広域水道企業団が発足 ・社団法人全国測量業団体連合会が設立総会 ・建設省 下請指導要綱まとめる ・建設省「公共測量作業規程」制定 ・日影規制など改正建築基準法が施行 ・国土庁、第3次全国総合開発計画を策定	・静岡県砂利採取等規制条例が施行 ・建設省、許可業者40万突破と発表 ・建設労働者の雇用改善に関する法律施行 ・浜岡原発が営業運転開始 ・県政100周年記念祝賀会 ・石橋克彦東大助手がM8クラスの駿河湾巨大地震説を発表、大反響 ・東京地検、ロッキード事件で田中角栄前首相を逮捕 ・中国の周恩来首相、毛沢東国家主席が死去 ・南北ベトナムが統一	・狩野川流域下水道事業が都市計画決定 ・県予算初の3千億円台に ・オイルショックで建設資材異常高騰 ・国の総需要抑制策で公共工事量は大幅にダウン、建設関連業界を苦境の極限に追い込む ・県庁西館完成（工事費16億円）	・七夕豪雨、県下中部を中心に大被害 ・伊豆半島沖地震 南伊豆町中心に大被害 ・小野田寛郎元少尉、ルパン島から帰国 ・長嶋茂雄（巨人）が現役引退 ・田中角栄首相が金権体質で辞任、三木武夫内閣成立 ・ウォーターゲート事件でミニクソン大統領辞任 ・仏のランブレイエで第1回先進国首脳会議（サミット）
・陸運事務所沼津支所を設置、沼津ナンバーが出現 ・領海12カイイリ、漁業専管水域200カイリ実施 ・王貞治（巨人）が7・5・6本の本塁打 ・世界記録 ロッキード事件丸紅ルート初公判 ・中国、文化大革命の終結を宣言	・県総務部、地震対策課を設置 ・世界記録 ロッキード事件丸紅ルート初公判 ・中国、文化大革命の終結を宣言	・日本女子エベレスト登山隊の田部井淳子が女性で初の登頂 ・天皇、皇后両陛下、米国を初訪問 ・日本赤軍、クアラルンプールで米大使館を占拠 ・県静岡土木事務所が静岡東土木事務所に改称、静岡西土木事務所を設置 ・県御前崎土木事務所を設置 ・政府、第4次不況対策で公共事業800億円を追加 ・（財）建設業振興基金が発足 ・在宅開発公団が発足	・沖縄国際海洋博覧会が開催 ・日本赤軍、クアラルンプールで米大使館を占拠 ・天皇、皇后両陛下、米国を初訪問 ・日本女子エベレスト登山隊の田部井淳子が女性で初の登頂 ・ベトナム戦争終結 ・仏のランブレイエで第1回先進国首脳会議（サミット）

## 昭和 56 年度

3 10 7 6  
10 31 27 7 8 29

本年度から従来の「協会だより」を改め「静測協だより」として春季号、夏季号、秋季号を年3回発行  
採石及び砂利採取並びに土地利用関係事務改正説明会  
講師－県砂防課職員  
測量・設計省力化システム展を見学（東京都大田区平和島）49人参加  
「道路台帳関係」講習会  
経営者講習会  
電算機、自動図化機器等近代化機器討論会及び展示会

## 昭和 55 年度

1 1 77  
19 1 17<sup>16</sup> 5 10 8

県土木部、県農地森林部に技術者日額人件費等を陳情  
通常総会 定款の一部変更（副会長3人以内 理事8人以上11人以内）  
変更認可（静岡県知事）  
「道路台帳作成要領、仕様書、道路現況調書作成」講習会  
講師－県道路建設課、県道路維持課職員  
全測連中部地協社長懇親会を東伊豆町稻取観光ホテルで開催  
「静測協81新年号」発刊（第1号）  
「ボックスカルバートの設計、土木工事の積算」講習会  
講師－県設計検査課職員

## 昭和 54 年度

3 12 11  
7 6 29 5 5  
5 29 15

「測量作業の積算の陳情書」を県庁関係部課に提出  
「道路台帳作成要領、仕様書、道路現況調書作成」講習会  
講師－県道路建設課、県道路維持課職員  
県農地森林部関係技術講習会  
講師－県農地森林部検査室職員  
第1回全測連全国大会に正副会長出席（東京）  
道路台帳作成で県道路建設課に要望書提出

## 昭和 53 年度

11 10 7 5 5 4  
11 17 28 20 11 17

通常総会 役員改選  
全測連発行の測量標準単価表を発注機関に配布  
設計業務委託について県土木部に陳情  
「河川管理施設等構造令・災害復旧工事の測量」講習会  
講師－県河川課職員  
経営者講習会「現代を生き抜くスタミナ作り」  
講師－ドクトルチエコ氏 終了後懇談  
急傾斜横断測量の積算新設を県土木部に陳情  
国道1号沼津バイパス開通

建設省が県建設産業会議所に注目  
静岡県方式を全国に普及する方針を固める

第50回選抜高校野球で浜松商業高校が優勝

大型、不況対策で  
静岡市民文化会館が完成  
国道150号バイパス静岡焼津間完成  
有料道路の伊豆冷川トンネル開通  
国道1号沼津バイパス開通

新東京国際空港が開港  
農林省を改組し農林水産省発足  
日中和平友好条約調印  
宮城県沖地震、伊豆半島近海地震発生  
イランのテヘランで反国王デモ激化

県の公共事業予算2700億円の超

大地震対策法案が閣議決定、本県を防災強化地域に指定  
東名日本坂トンネル内で車両火災発生  
東京サミット開催  
米中が国交樹立  
米スリーマイルズ島原発で放射能漏れ事故

県土木部に全国初の「建設業室」設置  
全測連第1回全国大会開催  
公取委、事業者団体の活動に関する  
独禁法上の指針を発表  
生コン業界、通産省の指導で近代化  
計画を発表  
国鉄静岡駅のパルシェ開業

第2次オイルショック  
本州四国架橋の大三島橋が開通  
東京サミット開催  
米中が国交樹立  
米スリーマイルズ島原発で放射能漏れ事故

通産省、建設業を不況業種に指定  
土地区画整理事業測量作業規程の施行  
全建、全中建ら業界7団体、業界の窮状で自民党に大陳情団を派遣  
西伊豆バイパスが完成

静岡駅前ゴールデン地下街でガス爆発  
事故、死者15人、重軽傷者222人  
JOCがモスクワ五輪への不参加決定  
大平正芳首相が急死、鈴木善幸内閣成立  
山口百恵フィーバー

県立総合病院が着工  
静岡駅前ゴールデン地下街でガス爆発  
事故、死者15人、重軽傷者222人  
JOCがモスクワ五輪への不参加決定  
大平正芳首相が急死、鈴木善幸内閣成立  
山口百恵フィーバー

静岡駅前ゴールデン地下街でガス爆発  
事故、死者15人、重軽傷者222人  
JOCがモスクワ五輪への不参加決定  
大平正芳首相が急死、鈴木善幸内閣成立  
山口百恵フィーバー  
イラン・イラク戦争勃発  
ジョン・レノン射殺

公取委、県内建設4団体に独禁法違反  
容疑で立入検査（静岡公取事件）  
県土木部、土木工事の積算業務電算化  
をスタート  
建築基準法改正、新耐震設計スタート  
県立美術館設計コンペで地元設計事務所が  
住宅都市整備公団が発足  
掛川、磐田、藤枝バイパス開通  
伊豆に河津七滝ループ橋が完成

田子の浦港のヘドロ最終処理事業が完了  
ローマ法王ヨハネ・パウロ2世が来日  
中国残留孤児47人が初の来日  
内閣、常用漢字表を制定  
福井兼一氏がノーベル化学賞受賞  
スペースシャトル打ち上げに成功

昭和 60 年度	昭和 59 年度	昭和 58 年度	昭和 57 年度
2 22	11 30	10 29	6 25
県のまちづくり月間に参画、各行事に参加 社長研修会「経営者の健康管理」 講師・食味研究科・石川美智子氏 経営者及び経理担当者講習会「法人税務のポイント」 講師・国税庁法人税課職員 臨時総会 会費の額の変更（売上割合費賦課率を決定）	7 8	5 24	6 27
通常総会 創立 10 周年記念式典（静岡市日興会館） 記念式典、10 周年記念事業発表及び目録贈呈 功労者に感謝状贈呈 永年勤続者表彰 祝賀会 ・ 講師・弁護士 藤田雅弘氏 「河川台帳整備事業の予算化」を県土木部長に陳情 〔測量・設計業務の委託金の前払実施〕を県土木部長らに陳情	12 1	7 12	5 29
県、土木・建築の共通仕様書を全面改正 県流域下水道設置条例を制定 県都市住宅部、土地開発室を 2 段階方式で 建設省が建設 7 団体に過度な受注競 争、ダンピングの自粛を要請 伊豆中央道第 1 期が開通 県立美術館が完成 浜松遠鉄高架が完成	3 1	1 1	6 29
県知事が県立美術館建設地を静岡市 谷田と発表 県、公共 4 部が積算基準公表 浜松テクノボリス計画承認 中央公共工事契約制度運用連絡協議 会（公契連）発足 技術士法改正 県立総合病院が完成 浜松総合公園（動物園）完成	11 22	11 9	4 29
浜松テクノボリス開発計画が承認 国際測量技術者連盟（F I G P G） が東京で開催 建設省、指名停止などの指導要領を 通達 公取委、独禁法の建設業向けガイド ラインを公表 運輸省が清水港沖に人工島構想発表 松崎町立「伊豆長八美術館」開館 大井川河口部に県下初の野鳥公園	11 22	11 9	4 29
県知事が県議会で空港の必要性を強調 厚生省が日本で初のエイズ患者を確 認と発表 ・ 日航機、群馬県の御嶽山中に墜落 520 人が死亡 日本電信電話、日本たばこ産業発足 プロ野球、阪神優勝でファイーバー ・ ソ連共産党書記長にゴルバチョフ氏 ・ ブラザ合意、先進 5 カ国がドル高是 正で協調介入	11 22	11 9	4 29

## 第2章 静測協50年のあゆみ

# 静測協 50 年のあゆみ

建設省の測量業ビジョン委員会が「測量業ビジョン－新しい技術産業を目指して」を答申  
建設省が技術募集型など新入札方式発表  
新東名に施工命令  
・中央建設業審議会、入札契約制度改革  
で建議 大規模工事への一般競争入札  
導入など90年ぶりの大改革  
国道1号新宇津谷トンネル貫通

- ・石川嘉延氏、県知事に初当選
- ・運輸省、静岡空港を新規事業に格上げ
- ・初の外国人横綱、曙が誕生
- ・プロサッカーリーグ、Jリーグが開幕
- ・皇太子さまと小和田雅子さまが結婚
- ・細川護熙連立内閣が発足、自民党長期政権に幕
- ・ゼネコン汚職
- ・EU発足

県設技術センターが発足  
新東名ルートの長泉町—神奈川県境 31  
キロのルート発表  
建設省、「第2次構造改善プログラム」  
を策定  
中央建設業審議会、「入札制度の基本  
的なあり方について」を答申

- ・ 岩崎恭子（沼津5中） ハルゼロナ五輪女子200メートル平泳ぎで競泳史上最年少金メダル
- ・ 静岡市で第1回大道芸ワールドカップ 全国平均地価、前年比で初めて下落
- ・ 法隆寺 白神山地などが世界遺産
- ・ EC、歐州連合条約に調印
- ・ 英チャーチスコット太子夫妻が離婚

県、官民による「建設産業生産システム合理化推進協議会」が全国に先駆け、発足。県、フレックステーリング、応急危険度判定士の養成を本格化。東静岡駅周辺区画整理、都市計画決定。建設省、建設生産システムの合理化指針を策定。リサイクル法施行、「建設副産物」の言葉が生まれる。

- ・県の一般会計予算が1兆円台に迫る
- ・全国高校総体が県下で開催
- ・政府・自民党 湾岸戦争で多国籍軍に90憶ドルの支援と自衛隊輸送機派遣など決定
- ・新東京都庁舎が完成
- ・バブル経済の崩壊、日本の景気鈍化
- ・多国籍軍、イラク空爆開始、湾岸戦争
- ・ソ連解体、ロシア共和国に

新東名ルート発表  
県「入札心得」を改正し、入札辞退の  
自由を徹底  
・測量業中長期ビジョン」まとまる  
監理技術者制度を柱とする建設業法改正  
日米構造協議を受けて政府が公共投資  
430兆円の10カ年計画策定  
建設投資の活況で若年建設労働力不足  
が深刻化

- ・静岡市の路線価上昇率 66.2% 全国4位
- ・大阪で「国際花と緑の博覧会」
- ・礼宮さま、川嶋紀子さま結婚（秋篠宮創設）
- ・東証一部、平均株価2万円台割る
- ・東西ドイツ統一
- ・イラク、クウェートに侵攻
- ・ペルー大統領にフジモリ氏
- ・ノ連が大統領選、ゴレバ・チヨフ氏就任

## 第2章 静測協50年のあゆみ

平成 9 年度		平成 8 年度		平成 7 年度		平成 6 年度	
2 1 23	12 9 26	11 9 13	8 7 29	5 · 25	6 · 24	5 · 10	7 · 27
G P S 技術講習会（G P S 機器による測量技術と現地実習） 講師——国 土地理院中部地方測量部係官 「独占禁止法遵守マニュアル」改訂版配布	GPS 技術講習会（G P S 機器による測量技術と現地実習） 講師——国 中部地方測量部係官 測量基準点に関するアンケート調査（全測連調査）の実施 測量機器の電子化による歩掛実態調査（全測連調査） 「土木積算S・E」選定要領指定様式の一部改正 「公益法人の設立許可及び指導監督基準」の改正に伴う外部監査選任、 定款変更事前協議	新土木積算システム操作マニュアル講習会 「測量の日」記念事業（本県が当番） 県農政部関係課長、検査室長と意見交換（歩掛要望） 大規模地震災害行政支援対策「会員所在図」を作成、県土木部への協 力体制を整備 県設計検査課長他と意見交換（歩掛要望） 東海地震に備え、国土地理院がG P Sなどの連続観測施設を掛川市杉 谷に設置	通常総会 役員改選 テクリス（調査設計業務実績情報サービス）説明会 講師——株建設コンサルタントセンター・木村芳正氏 県農政部関係課長、検査室長と意見交換（歩掛要望） ・会場一ツインメッセ静岡 ・「地図と東海道五十三次さんさくフェスティバル」「測量設計システ ム展」「文化講演会」「技術講演会」等 平成 8 年度電算帳票作成業務委託実態調査実施	測量作業歩掛実態調査（用地、路線、河川地形等） テクリス（調査設計業務実績情報サービス）説明会 講師——株建設コンサルタントセンター・木村芳正氏 県農政部関係課長、検査室長と意見交換（歩掛要望） 大規模地震災害行政支援対策「会員所在図」を作成、県土木部への協 力体制を整備 県設計検査課長他と意見交換（歩掛け要望） 東海地震に備え、国土地理院がG P Sなどの連続観測施設を掛川市杉 谷に設置	公取委、浜松地区の建設業者を独禁法 違反容疑で立入検査 阪神淡路大震災で本県の応急危険度判 定士が注目を集め 建設省、「建設産業政策大綱」を策定、 「新しい競争の時代」へ 公共工事の建設費縮減がクローズアップ テクリスへの登録義務付け 新東名初着工、清水第3トンネル	公取委、浜松地区の建設業者を独禁法 違反容疑で立入検査 阪神淡路大震災で本県の応急危険度判 定士が注目を集め 建設省、「建設産業政策大綱」を策定、 「新しい競争の時代」へ 公共工事の建設費縮減がクローズアップ テクリスへの登録義務付け 新東名初着工、清水第3トンネル	伊東市汐吹崎付近で群発地震 県が「新世紀創造計画」を発表 M7.2 の阪神淡路大震災、死者6308 人、被害総額9.6兆円 オウム真理教による地下鉄サリン事件 関西新空港開港 日本産トキ絶滅と環境庁が発表 米が核実験全面中止と発表 ザイールでエボラ出血熱
7 5 29 12	9 · 28	6 · 25	10 · 27	10 · 27	10 · 28	10 · 28	10 · 28
通常総会 役員改選 創立20周年記念式典（ホテルアソシア静岡ターミナル） ・記念式典 表彰状及び感謝状贈呈 ・記念事業 静岡ふれあい基金に100万円寄付 ・記念講演 講師——政治評論家・伊藤昌哉氏「私の見た政局」 ・祝賀会	測量・調査・設計業務経営実態調査説明会（目的・歩掛け改善） 創立20周年記念事業「94測量・設計システム展」開催（静岡産業会館）	建設省 本年度発注予定工事を初公表 日本建設情報総合センター、工事実績 情報システム（CORINS）登録開始 浜松市のアクションティがオープン 県立美術館に「ロダン館」完成 掛川城完成	細川内閣退陣、羽田孜内閣成立、47 年ぶりの社会党首相 停止 大江健三郎氏がノーベル文学賞受賞 青森県の三内丸山遺跡で4500年 前の巨大木柱出土 北朝鮮の金日成主席が死去	一般競争入札元年（建設省、静岡県等 が相次いで新入札制度を導入） 経営事項審査項目などを柱とする改正 建設業法が施行 建設省 本年度発注予定工事を初公表 日本建設情報総合センター、工事実績 情報システム（CORINS）登録開始 浜松市のアクションティがオープン 県立美術館に「ロダン館」完成 掛川城完成	伊東市汐吹崎付近で群発地震 県が「新世紀創造計画」を発表 M7.2 の阪神淡路大震災、死者6308 人、被害総額9.6兆円 オウム真理教による地下鉄サリン事件 関西新空港開港 日本産トキ絶滅と環境庁が発表 米が核実験全面中止と発表 ザイールでエボラ出血熱	伊東市汐吹崎付近で群発地震 県が「新世紀創造計画」を発表 M7.2 の阪神淡路大震災、死者6308 人、被害総額9.6兆円 オウム真理教による地下鉄サリン事件 関西新空港開港 日本産トキ絶滅と環境庁が発表 米が核実験全面中止と発表 ザイールでエボラ出血熱	伊東市汐吹崎付近で群発地震 県が「新世紀創造計画」を発表 M7.2 の阪神淡路大震災、死者6308 人、被害総額9.6兆円 オウム真理教による地下鉄サリン事件 関西新空港開港 日本産トキ絶滅と環境庁が発表 米が核実験全面中止と発表 ザイールでエボラ出血熱

## 平成 10 年度

通常総会 役員改選 定款の一部改正（専務理事及び監事のうち 1 人を測量設計業関係者以外の者から選任）  
定款の変更認可（静岡県知事）  
G I S 普及セミナー及び測地成果 2000 説明会  
「土木積算 S・E」事業歩掛実態調査説明会（財）経済調査会中部支部へ委託（調査概要・記入要領説明）  
独占禁止法遵守研修会「独占禁止法と人札談合」講師（財）公正取引協会常務理事・黒田武氏  
測地成果 2000 導入に関する説明会 講師（国土地理院本院及び中部地方測量部係官）

## 平成 11 年度

技術研修会「J S P - S I M A - D A フォーマット」講師（全測連企画部長・石川佳市氏ほか）  
平成 11 年度建設省土木工事積算基準説明会  
「測量設計業の ISO 9001 認証取得」研修会 講師（全測連 I S O 9000 s 検討部会委員）  
G I S（地理情報システム）「法定公共物」等管理システムデモンストレーション見学  
法定外公共物に係る国有財産の譲与手続き説明会（「地方分権推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」の成立による）講師（県と公共用地室職員）

## 平成 12 年度

通常総会 役員改選  
「測量の日」中部地区記念行事「測量と地図展」  
・ 静岡市のグランシップで開催 伊能忠敬から現代へ  
・ 講演会 講師（伊能忠敬研究会事務局長・渡辺一郎氏）  
・ 公共測量作業マニュアル研修会 講師（日本測量協会測量技術センター中部支部職員）  
中部地協主催「経営者及び社長研修会」舞阪町で開催  
平成の伊能忠敬（ニッポンを歩こう 21 世紀への 100 万人ウォーク）  
へ協賛（舞阪町（三島市））

## 平成 13 年度

「情報処理技術に関する受験対策ガイドンス」説明会 講師（東海工業専門学校熱田校土木科主任・高村洋二氏）  
地籍調査研修会 講師（県農地管理室職員）  
独占禁止法遵守マニュアル研修会 講師（愛知県測協独禁法遵守委員長・斎藤建雄氏）  
測量と地図展（静岡文化芸術大学） 展示概要（東海道八宿今と昔）  
広重の絵と現在の地図  
I O S パネルディスカッション「認定取得に向けての社内体制、支援コンサルタント選定上の留意点、認証を企業経営にどう生かすか」

県、入札参加資格業者の格付け公表  
国土地理院が測量法改正案を策定  
全測連全国会長会議が静岡市で開催（10月14日）  
建設省の「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会」第1回開催  
県のグランシップが開館  
静岡国際園芸博覧会パシフィックフローラ 2004 開催決定、工事着工

建設省、電子入札の実証実験  
建設省、電子入札の実証実験

冬季五輪長野大会が開催  
静岡空港本体造成工事に着手  
建築基準法改正、確認業務など民間に開放  
日本列島を飛び越し太平洋に着弾  
北朝鮮のミサイル「テポドン 1 号」

伊東市川奈で橋本・エリツイン会談  
芹沢鉢介美術館と伊豆長八美術館が公共建設 100 選に予定価格、最低制限価格の事後公表  
県、建設工事と設計・測量など委託契約で若乃花が横綱に、貴乃花と兄弟横綱日本も対人地雷全面禁止条約を批准  
この年、金融ビックバン  
日本列島を飛び越し太平洋に着弾

県、島田土木事務所と藤枝土木事務所を統合し島田土木事務所に発足  
静岡県建築住宅まちづくりセンター発足  
建設リサイクル法が公布  
建設省の「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会」が中間とりまとめ  
公共工事コスト縮減の新行動指針発表  
長嶋ダム、試験湛水

・ 介護保険スタート  
・ 小渕恵三首相が脳梗塞で緊急入院、森喜朗内閣発足  
・ 雪印乳業大阪工場乳製品で集団食中毒  
・ シンドニース五輪開催、高橋尚子が女子マラソンで金メダル  
・ 白川英樹氏がノーベル化学賞受賞  
・ 三宅島で大噴火、全島民に避難命令  
・ 米大統領選、大接戦で勝敗つかず  
（12月ブッシュ候補の当選確定）

・ 県、島田土木事務所と藤枝土木事務所を統合し島田土木事務所に発足  
・ 小渕恵三首相が脳梗塞で緊急入院、森喜朗内閣発足  
・ 東京都知事選で石原慎太郎氏が初当選  
・ 日銀が事实上のゼロ金利政策  
・ E U が单一通貨ユーロ、11カ国が導入  
・ マカオがポルトガルから中国に返還  
・ 世界人口 60 億人を突破

県、CAL S / E C導入で推進協議会発足  
中部地方整備局、県内初の性能規定発注  
中部地方整備局、全国初の電子入札  
・ 燃津市で「全国豊かな海づくり大会」省庁再編、国土交通省が発足  
・ 小泉純一郎内閣が発足  
・ ハワイ沖で愛媛県宇和島水産高校の実習船が米原港に衝突され沈没  
・ 野依良治氏がノーベル化学賞受賞  
・ 米中核同時テロ（9・11）、N Y 世界貿易センターに旅客機 2 機が激突  
・ ブッシュ米大統領、アフガニスタンに軍事行動

・ 伊東市川奈で橋本・エリツイン会談  
・ 芹沢鉢介美術館と伊豆長八美術館が公共建設 100 選に予定価格、最低制限価格の事後公表  
・ 建設工事と設計・測量など委託契約で若乃花が横綱に、貴乃花と兄弟横綱日本も対人地雷全面禁止条約を批准  
・ この年、金融ビックバン  
・ 日本列島を飛び越し太平洋に着弾

## 平成 14 年度

通常総会 役員改選  
臨時総会 専務理事の選任  
「測量の日」記念事業（中部地区連絡協議会）  
創立100（～130）周年を迎える小学校に記念品贈呈  
独占禁止法遵守研修会 内容－独禁法コンプライアンス監査規程 講師－愛知県測協独禁法遵守委員長・斎藤建雄氏  
「測量成果電子納品（案）」説明会 講師－全測連企画部長・石川佳市氏ほか

## 平成 15 年度

「地籍調査事業の促進要望書」県下全市町村に提出  
CALS/ECC研修会・測量設計業務電子納品ソフト展示説明会 講師－（株）シーキャット社長・小林記丈氏  
「社団法人静岡県測量設計業協会倫理綱領」制定 会員企業の全社員に周知徹底を要請  
全国会長会議で、全測連役員並びに各都道府県測協会長が「全国会長独占禁止法遵守宣言」に署名、会員企業の全社員に周知徹底を要請  
独占禁止法遵守研修会「独禁法違反処置、独禁法改正の動き等」講師－（財）公正取引協会研修指導員・片桐益栄氏

## 平成 16 年度

通常総会 役員改選  
創立30周年記念式典（ブケ東海静岡）  
記念式典（表彰状並びに感謝状贈呈）・記念講演「美しい国土づくりと測量」 講師－星埜由尚前国土地理院長・祝賀会  
CALS/ECC研修会  
経営者及び幹部社員研修 「息子達と目指せオリンピック」 講師－水鳥由香氏 体操指導者  
技術研修会「高度情報化社会とGIS」・講師－清水英範・東京大学大学院工学研究科基盤工学専攻教授  
災害協定締結 30日・県静岡土木事務所、31日その他県13出先事務所

## 平成 17 年度

災害復旧事業研修会 講師－鈴木忠彦・静岡県土木部防災室職員及び（社）全国防災協会認定災害復旧技術専門家 経営者及び幹部社員研修「話し上手になる方法」 講師－遠藤行洋氏  
元静岡朝日テレビアナウンサー  
技術研修会「測量設計業の目指すべき方向と対策」 講師－石川佳市氏  
全国測量設計業協会連合会企画部長  
独占禁止法遵守に関する研修会 講師－小関征二氏（財）公正取引協会指導員  
「地図展 2005 in 静岡」（地図展推進協議会主催）に協賛（ツインメッセ静岡）

清水市が一般競争入札を原則全面実施、波紋広がる  
公取委、独禁法違反で清水建設業協会に立入検査  
県内初のPFI事業の函南駅前立体駐車場が完成  
改正測量法が施行、日本測地系から世界測地系へ変更  
長島ダム完成

アフガニスタン復興支援会議が東京で開催  
2002年サッカーワールドカップ  
日韓大会が開催  
ソルトレーラ冬季五輪が開催  
ブッシュ米大統領が来日、小泉首相と会談

県土木部が総合評価落札方式を導入  
県建設CALS/ECC研修センター開設  
旧清水市発注の土木、舗装工事で公取委から26社に除外勧告  
中部地方整備局らで「ダンピング対策

中南部地方協議会」発足  
官製談合防止法が施行  
JR静岡駅前の地下駐車場「エキバ」完成  
・県の談合情報マニュアル改正、違約金特約条項を創設  
・県が1億円以上の工事、2000万円以上の業務で電子入札開始  
・国土交通省が新3ヵ年計画の「建設産業構造改善プログラム2004」公表  
・正・透明性の高い市場を目指して」  
・全国（県）建設コンサルタント業協会連絡協議会発足

・静岡市と清水市が合併、新・静岡市誕生  
・富士市のビル解体現場で壁崩落事故  
・SARSパンニック  
・横綱・貴乃花引退  
・政府、イラクの人道復興支援で自衛隊派遣決める  
・北朝鮮が核拡散防止条約を脱退  
・米ら多国籍軍がイラクを攻撃、イラク戦争勃発

・浜松市、富士市など県内5市が電子入札開始  
・「公共工事の品確法」施行  
・土地区画整理法が改正  
・国土交通省が「CALS/ECCアクションプログラム2005」を決定  
・国土交通省が調査設計で初の総合評価  
・方針を導入  
・日本道路公団が民営化  
・大手ゼネコンが談合決別宣言

・静岡市が政令指定都市に移行  
・新・浜松市が誕生、この年市町村合併が相次ぐ  
・郵政民営化選挙で自民党圧勝、小泉劇場  
・震災強度偽装が発覚  
・日本の人口初の自然減  
・JR宝塚線脱線、死者107人  
・米南部にハリケーン「カトリーナ」

# 静測協 50 年のあゆみ

平成 21 年度		平成 20 年度		平成 19 年度		平成 18 年度	
2 · 2	11 · 4	10 · 30	10 · 7	9 · 18	6 · 17	5 · 13	5 · 13
第1回技術研修会 CALS/ECについて 講師—良知孝悦氏 静岡県建設部技術管理室OA効率化主幹・杉本直也氏 同主査など4テーマ 社長研修会「ストレス社会を生き抜く」講師—橋元慶男氏 岐阜聖徳学園大学教育学部・同大大学院国際文化研究系教授	第2回技術研修会 測量成果電子納品要領(案)について 講師—杉本尚之氏 福井コンピューター㈱ CADプロモーション部 CALS/E Cエキスパートなど2テーマ 静測協の今後の方検討で「事業検討会議」を設置	第1回技術研修会 CALS/ECについて 講師—小林尚氏 掛川市企画総務部地域振興課地籍調査係長など4テーマ 第2回技術研修会 ①神奈川県測協の実例に見る広域座標と地域座標の不整合について 講師—中根勝見氏 元国土地理院研究官②東海地域の最近の地殻変動について 講師—里村幹夫氏 静岡大学理学部地球科学科教授 独占禁止法コンプライアンス研修会 講師—瀧澤文海氏(財)公正取引協会事務局長	通常総会 役員改選 災害復旧事業技術研修会 第1回技術研修会 地籍調査事業の推進について 講師—成嶺弘和氏 静岡県建設部農地計画室王査②地理空間情報活用推進基本法と防災地籍 講師—中根勝見氏 元国土地理院研究官③測量行政及び測量技術に関する最新の動向 講師—米渕武次氏 国土地理院中部地方測量部次長 社長研修会「すべての基本は健康な体から」講師—森育子氏 森育子 ダンススタジオ主宰 独占禁止法遵守研修会 講師—齊藤健雄氏 全測連独禁法遵守部会副部会長	技術研修会 ①都市再生街区基本調査について 講師—成嶺弘和氏 静岡県建設部農地計画室王査②地理空間情報活用推進基本法と防災地籍 講師—中根勝見氏 元国土地理院研究官③測量行政及び測量技術に関する最新の動向 講師—米渕武次氏 国土地理院中部地方測量部次長研修会「すべての基本は健康な体から」講師—森育子氏 森育子 ダンススタジオ主宰 独占禁止法遵守研修会 講師—齊藤健雄氏 全測連独禁法遵守部会副部会長	通常総会 役員改選 災害復旧事業技術研修会 第1回技術研修会 地籍調査事業の推進について 講師—成嶺弘和氏 静岡県建設部農地計画室王査②地理空間情報活用推進基本法と防災地籍 講師—中根勝見氏 元国土地理院研究官③測量行政及び測量技術に関する最新の動向 講師—米渕武次氏 国土地理院中部地方測量部次長研修会「すべての基本は健康な体から」講師—森育子氏 森育子 ダンススタジオ主宰 独占禁止法遵守研修会 講師—齊藤健雄氏 全測連独禁法遵守部会副部会長	通常総会 役員改選 災害復旧事業技術研修会 第1回技術研修会 地籍調査事業の推進について 講師—成嶺弘和氏 静岡県建設部農地計画室王査②地理空間情報活用推進基本法と防災地籍 講師—中根勝見氏 元国土地理院研究官③測量行政及び測量技術に関する最新の動向 講師—米渕武次氏 国土地理院中部地方測量部次長研修会「すべての基本は健康な体から」講師—森育子氏 森育子 ダンススタジオ主宰 独占禁止法遵守研修会 講師—齊藤健雄氏 全測連独禁法遵守部会副部会長	通常総会 役員改選 災害復旧事業技術研修会 第1回技術研修会 地籍調査事業の推進について 講師—成嶺弘和氏 静岡県建設部農地計画室王査②地理空間情報活用推進基本法と防災地籍 講師—中根勝見氏 元国土地理院研究官③測量行政及び測量技術に関する最新の動向 講師—米渕武次氏 国土地理院中部地方測量部次長研修会「すべての基本は健康な体から」講師—森育子氏 森育子 ダンススタジオ主宰 独占禁止法遵守研修会 講師—齊藤健雄氏 全測連独禁法遵守部会副部会長
・道路特定財源廃止で一般財源化 ・中央公共工事契約制度運用連絡協議会 (公契連)が調査基準価格を引き上げ	・国土交通省が経営事項審査の評価項目 を8年ぶりに大幅改正 ・国土交通省が「CALS/ECアクト」 ・シヨンプログラム2008」を策定 ・鋼材類と燃料油高騰で国土交通省が単品ライド条項を28年ぶりに発動 ・国土交通省が「情報化施工推進戦略」 を策定	・浜松市が政令指定都市に移行 ・常葉菊川高校が選抜高校野球で初優勝 ・国民投票法が成立 ・参議院選で自民党大敗 ・安倍晋三首相が辞任 ・中山伸弥京大教授が、人間の皮膚から万能細胞 ・「宙に浮いた年金記録」など年金不信 を深まる ・食品偽装が相次ぎ発覚	・北朝鮮が核実験 ・この年、官製談合で福島、和歌山、宮崎の3県知事が相次ぎ逮捕 ・元静岡県建設業協会会长・二宮睦治氏死去 ・建設業厚生年金基金が解散 ・E T I S)を本格運用 ・国土交通省が「入札ボンド制度」を導入、東日本保証会社も取扱開始 ・建設業厚生年金基金が解散 ・この年、官製談合で福島、和歌山、宮崎の3県知事が相次ぎ逮捕 ・元静岡県建設業協会会长・二宮睦治氏死去 ・建設業厚生年金基金が解散 ・トリノ冬季五輪、荒川静香が女子フィギュアスケートで金メダル ・第1回ワールド・ベースボールクラシック(W B C)で日本が初代王者 ・冥王星が格下げ矮惑星に ・安倍晋三内閣が発足 ・教育基本法改正成立 ・北朝鮮が核実験 ・冥王星が格下げ矮惑星に ・安倍晋三内閣が発足 ・教育基本法改正成立				

## 第2章 静測協50年のあゆみ

平成 29 年度

$$\begin{array}{ccccccccc} 3 & 3 & 2 & 11 & 1010 & 9 & 7 & 5 \\ \cdot & \cdot \\ 29 & 28 & 8 & 7 & 2019 & 1 & 24 & 16 \end{array}$$

定期総会 災害復旧事業技術研究会（一社）静岡県建設コンサルタンツ協会と  
催65名参加 技術講習会 i.Construction & CIMの概要など座学と  
次元データ活用など実習を実施  
社長研修会「平成29年度中部地方整備局の取り組み」講師＝犬飼一  
氏ほか1テーマ  
静岡県交通基盤部関係者との意見交換会  
静岡県教育委員会と災害協定締結  
静岡県労働災害防止講習会を開催し、安全教育および安全措置の徹底を図る  
労働災害防止講習会を開催し、安全教育および安全措置の徹底を図る  
静岡県経済産業部の7農林事務所長と災害協定書締結

平成 28 年度

$$\begin{array}{ccccccccc} 2 & 2 & 10 & \overset{10}{\underset{21}{\overset{10}{\dots}}} & 8 & 8 & 7 & 5 \\ \cdot & \cdot \\ 17 & 6 & 28 & \underset{24}{\underset{3}{\dots}} & 26 & 16 \end{array}$$

定時総会 役員改選  
災害復旧事業研修会 静岡県建設コンサルタンツ協会と共催 81名参  
(公社)鹿児島県測量設計業協会と「災害時相互応援協定」締結  
南伊豆町と災害協定締結  
社長研修会「測量設計業界の現状等について」 講師—井林辰憲衆  
院議員  
静岡県交通基盤部関係者との意見交換会 正副会長(他5名)出席  
交通基盤部建設業課長、公共用地課長(他12名)参加  
県危機管理部主催「災害時応援協定締結事業者との研修・情報交換会  
会員10名参加  
独占禁止法遵守研修会 講師  
葛西文二氏(公財)公正取引協会

平成 27 年度

$$\begin{array}{cccccc} 11 & 10 & \overset{1010}{\underset{\cdot}{\cdot}} & 7 & 7 & 5 \\ \cdot & \cdot & \overset{2322}{\underset{\cdot}{\cdot}} & \cdot & \cdot & \cdot \\ 25 & 29 & & 27 & 16 & 14 \end{array}$$

定時総会  
富士宮市と災害協定締結  
災害復旧事業研修会 昨年度に引き続き静岡県建設コンサルタンツ  
会と共催  
社長研修会「測量設計業における今後の課題」講師・野田徹氏・前  
土交通省北陸地方整備局長  
技術講習会「公共測量作業を行うにあたって注意したいところ」講  
師・日本測量協会 飯村友三郎氏  
静岡県交通基盤部関係者との意見交換会 正副会長（他5名）出席  
土木防災課関係職員（計9名）  
独占禁止法遵守研修会 講師・相馬哲夫氏

平成 26 年度

$$\begin{array}{cccccc} 1 & \overset{1010}{\cdot} & 9 & 7 & 7 & 5 & 5 \\ \cdot & \overset{2423}{\cdot} & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot & \cdot \\ 19 & \underset{3}{\cancel{}} & 11 & 31 & 30 & 13 & 13 \end{array}$$

定期総会 役員改選  
創立40周年記念式典 記念講演会「国土強靭化計画と築土構木の思想」  
講師 京都大学大学院 工学研究科教授 藤井聰氏  
災害復旧事業研修会 規模拡大して静岡県建設コンサルタンツ協会  
共催  
(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会と「災害時相互応援協定」締  
技術講習会「国土調査法第19条5項指定制度について」講師・伏見  
氏・県農地計画課ほか2テーマ  
社長研修会「公共事業を取り巻く最近の話題について」講師・山内  
雄氏・国土交通省中部地方整備局  
湖西市と災害協定締結

- ・ 酒き方改革実現会議が「働き方改革中行計画」を決定
- ・ 国土交通省が建設作業における女性の更なる活躍に向けて、「建設産業女性活躍推進会議」を開催
- ・ ふじのくに-i-Construction推進支援協議会発足
- ・ 17年度CIM活用加速、実施方針策定
- ・ 國土地理院 地上レーザスキャナ測量  
マニュアル案を作成
- ・ 國土交通省 村部の地籍調査／測量  
新技術で効率化

- ・国土交通省に「生産性革命本部」発足を加える改正建設業法施行
- ・静岡県建設業審議会が「建設業の担い手確保に関する提言」を県に提出
- ・労務単価・技術者単価見直し 前倒しで2月1日適用
- ・国土地理院 測量系CPD取得技術者／総合評価で加点

- ・社会資本整備重点計画が閣議決定
- ・静岡県建設産業担い手確保、育成対策実施
- ・支援事業開始
- ・国土交通省 業務も一般管理費引上げ
- ・土木設計予定価は8%増加
- ・国土交通省 直轄業務の積算基準改定
- ・「一般管理費等率」35%に
- ・国土交通省 本年度CIM試行、測量や地質調査も視野

- ・改正公共工事品質確保促進法、改正建築業法、改正公共工事入札契約適正化法の3法（担い手3法）公布・施行
- ・「国土強靭化基本計画」が閣議決定
- ・新たな「基本測量に関する長期計画」を策定
- ・国土地理院 基本測量の長期計画策定／地理空間情報整備・活用を促進
- ・日本の国土全域を1枚で表す地図を更新

- ・米国　トランプ大統領が就任
- ・韓国　文在寅大統領が就任
- ・違法残業事件で電通に有罪判決　働き
- ・方改革へ機運
- ・森友学園、加計学園問題が安倍政権撲滅
- ・個人情報保護法改正施行　るがす

- 日銀マイナス金利を初導入
- 熊本地震が発生
- イギリスが国民投票でEU離脱決定
- リオデジャネイロ五輪・パラリンピック開幕
- マイナンバー制度運用開始
- イチロー選手、日米通算安打数4257本
- のメジャーリーグ通算最多安打記録更新
- 東海道線草薙駅橋上駅舎と南北自由通路完成
- 政府「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」決定

- ・ 集團的自衛権行使、安全保障関連法が成立
- ・ イスラム国（IS）が邦人人質を殺害
- ・ 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）交渉が大筋合意
- ・ 戦後70年で安倍首相が談話
- ・ 東京五輪エンブレム、模倣指摘で白紙に
- ・ 普天間基地、辺野古移設で国が着工
- ・ 安倍京駅新駅舎供用開始
- ・ 安倍政権の政治資金規正法違反疑惑

- ・ウクライナ危機 クリミア半島をロシアに編入
- ・消費税5%から8%に引き上げ
- ・御嶽山が噴火、死者、負傷者多数
- ・イラク・シリア地区でイスラム国の大勢力拡大、有志連合による空爆
- ・広島市で局地的豪雨により大規模土砂災害発生

令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
1 1 12 11 10 10 9 8 6 25 17 9 29 18 13 10 <sup>23</sup> 30	6 5 23 11 11	2 11 11 10 10 10 7 5 4 11 10 26 19 7 17 12	3 3 2 10 10 10 8 7 27 5 6 18 17 7 17 14
定期総会 定時総会 伊東市と災害協定締結 技術講習会「南海トラフ地震対策に関する最近の話題」 広氏 县危機管理部危機政策課 伊豆市と災害協定締結 国土交通省BIM/CIM推進の対応P.T.設置 地整に提出 静岡県交通基盤部関係者との意見交換会 公益法人全国防災協会 災害復旧及び灾害防止事業功労者表彰の受賞 令和元年台風19号への対応 静岡大学土木情報学研究所への参画 キックオフ・オンライン・ミーティング	定期総会 役員選任 伊東市と災害協定締結 技術講習会「南海トラフ地震対策に関する最近の話題」 講師 松村昌 伊豆市と災害協定締結 国土交通省BIM/CIM推進の対応P.T.設置 課題を整理して中部 パンフレット「未来を測る測量・設計の世界」と動画を配布	定期総会 富士宮市災害時応援協定・ライフル防災連絡会に参加 改正品確法及び業務ガイドラインの改定に関する説明会 講師 國土 交通省中部地方整備局企画部建設専門官 参加者85名 静岡県・熊本県・鹿児島県の3県測協による広域災害時相互応援に関する意見交換会を協会会議室で開催 オブザーバー 静岡県交通基盤部土木防災課長・災害班長 社長研修会「宇宙技術や地理空間情報技術を活用した国内外の様々な取り組みの事例」 講師 福代孝良氏 (株)マキノハラボ代表取締役 「働き方改革」に関する研修会 直子氏 (株)シェーナ代表取締役・社会保険労務士 函南町と災害協定締結 パンフレット「未来を測る測量・設計の世界」と動画を配布	定期総会 「測量の日」 中部地区連絡協議会記念講演会 【あざれあ】 219名参加 講演1 「減災から防災社会へ」 講師 岩田孝仁教授 岡大 学防災総合センター長 岩田孝仁教授 やそう!ードボジヨ、ソクジヨの働き方 講師 鹿島建設(株)土木管 理本部土木企画部ダイバーシティ推進担当 部長 須田久美氏 技術講習会「ドローンで取得できた画像処理・点群処理3Dスキヤナ (レーザー測量)業務について」 講師 (株)豊富 松浦真悟氏 社長研修会 静岡県東部・伊豆地域におけるインフラ整備 講師 藤井和久氏 会員用B.C.P.(事業継続計画) 簡易版を配布 長泉町と災害協定締結 元会長根本健氏旭日双光章受章祝賀会 下田市と災害協定締結
熱海市と災害協定締結 「安全作業マニュアル」発刊 独占禁止法遵守研修会及び建設関連業務委託安全研修会	定期総会 第1回技術講習会「県の政策について」 通基盤部建設経済局技術調査課、課長ほか6人 災害復旧事業研修会(一社) 静岡県建設コンサルタント協会と共に催 講師 静岡県交通基盤部土木防災課 道路保全課 砂防課職員他会員 「土木積算定期講習会」 講師 静岡県交通基盤部技術調査課職員3名 静岡県交通基盤部13出先機関との出動要請、応諾訓練 技術委員会WG(ワーキンググループ) 設置 技術委員長含め10名出席 熱海市と災害協定締結 藤山義修会長 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰受賞 表彰式出席	定期総会 富士宮市災害時応援協定・ライフル防災連絡会に参加 改正品確法及び業務ガイドラインの改定に関する説明会 講師 國土 交通省中部地方整備局企画部建設専門官 参加者85名 静岡県・熊本県・鹿児島県の3県測協による広域災害時相互応援に関する意見交換会を協会会議室で開催 オブザーバー 静岡県交通基盤部土木防災課長・災害班長 社長研修会「宇宙技術や地理空間情報技術を活用した国内外の様々な取り組みの事例」 講師 福代孝良氏 (株)マキノハラボ代表取締役 「働き方改革」に関する研修会 直子氏 (株)シェーナ代表取締役・社会保険労務士 函南町と災害協定締結 パンフレット「未来を測る測量・設計の世界」と動画を配布	定期総会 「測量の日」 中部地区連絡協議会記念講演会 【あざれあ】 219名参加 講演1 「減災から防災社会へ」 講師 岩田孝仁教授 岡大 学防災総合センター長 岩田孝仁教授 やそう!ードボジヨ、ソクジヨの働き方 講師 鹿島建設(株)土木管 理本部土木企画部ダイバーシティ推進担当 部長 須田久美氏 技術講習会「ドローンで取得できた画像処理・点群処理3Dスキヤナ (レーザー測量)業務について」 講師 (株)豊富 松浦真悟氏 社長研修会 静岡県東部・伊豆地域におけるインフラ整備 講師 藤井和久氏 会員用B.C.P.(事業継続計画) 簡易版を配布 長泉町と災害協定締結 元会長根本健氏旭日双光章受章祝賀会 下田市と災害協定締結
技術者単価 6年連続で増加 / 前年度比 3%増の3.76万円 国土地理院アクションプラン2018/i-Con推進など11項目追加 / 固定翼UAV安全基準も作成 国土交通省電子契約8月試行 直轄工事・業務 パートナーシップ協定(TPP)「T P P 11」発足 西日本豪雨 北海道胆振東部地震発生 静岡市「SDGs未来都市」に選定 大阪府北部地震	技術者単価 6年連続で増加 / 前年度比 3%増の3.76万円 国土地理院アクションプラン2018/i-Con推進など11項目追加 / 固定翼UAV安全基準も作成 国土交通省電子契約8月試行 直轄工事・業務 パートナーシップ協定(TPP)「T P P 11」発足 西日本豪雨 北海道胆振東部地震発生 静岡市「SDGs未来都市」に選定 大阪府北部地震	新天皇陛下即位。元号を「令和」に改める 清水港開港120周年 ラグビーワールドカップ日本大会開催 エコパスタジアムでも試合開催 イチロー選手引退表明 消費税8%から10%に引き上げ 東名高速道路日本平久能山スマートインターチェンジ開通 新型コロナウイルス 中国武漢市で流行	新天皇陛下即位。元号を「令和」に改める 清水港開港120周年 ラグビーワールドカップ日本大会開催 エコパスタジアムでも試合開催 イチロー選手引退表明 消費税8%から10%に引き上げ 東名高速道路日本平久能山スマートインターチェンジ開通 新型コロナウイルス 中国武漢市で流行
米朝が史上初の首脳会談 金融商品取引法違反の疑いで日産のカルロス・ゴーン会長逮捕 米国を除く11カ国による環太平洋 P P 11 政府、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言(2、3、4回目) 政府、デジタル庁設置 熱海市伊豆山で土石流災害	米朝が史上初の首脳会談 金融商品取引法違反の疑いで日産のカルロス・ゴーン会長逮捕 米国を除く11カ国による環太平洋 P P 11 政府、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言(2、3、4回目) 政府、デジタル庁設置 熱海市伊豆山で土石流災害	米朝が史上初の首脳会談 金融商品取引法違反の疑いで日産のカルロス・ゴーン会長逮捕 米国を除く11カ国による環太平洋 P P 11 政府、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言(2、3、4回目) 政府、デジタル庁設置 熱海市伊豆山で土石流災害	米朝が史上初の首脳会談 金融商品取引法違反の疑いで日産のカルロス・ゴーン会長逮捕 米国を除く11カ国による環太平洋 P P 11 政府、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言(2、3、4回目) 政府、デジタル庁設置 熱海市伊豆山で土石流災害

「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事 「測量の日」記念講演会・展示会に正副会長（他9名）参加  
静岡県交通基盤部関係者との意見交換会 正副会長（他5名）出席、  
静岡県交通基盤部職員11名出席  
静岡県交通基盤部職員11名出席  
社長研修会 「令和5年度の主要事業について」講師一中村一郎氏  
国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所副所長  
独占禁止法遵守研修会 講師一山中康平氏 公正取引委員会事務総局  
係長  
災害復旧事業研修会（一社）静岡県建設コンサルタント協会と共に催  
講師一静岡県交通基盤部土木防災課・道路保全課職員・協会員1名

定時総会 役員改選  
「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事 「測量の日」記念講習会・  
正副会長と専務理事以外はオンライン参加  
静岡県交通基盤部との意見交換会 正副会長（他5名）出席、静岡県  
交通基盤部職員13名出席  
社長研修会3年ぶり開催 「測量・設計に関する話題提供」 講師＝川上  
哲広氏・中部地方整備局企画部技術調整管理官  
令和4年台風15号静岡県災害義援金として静岡県健康福祉部を通じ60  
万円寄付 目録贈呈式に正副会長・専務理事出席  
裾野市と災害協定締結

国土交通省、建設業界団体に適切な対応を要請 新型コロナまん延防止適用で  
国土交通省、査定時の書類簡素化 自治体災害復旧円滑に指針策定  
デジタル庁有識者会議国家資格手続 簡便化へ マイナンバー活用議論  
新型コロナウイルスやウクライナ情勢 等を背景にした建築資材の高騰

安倍元首相、参院選応援演説中に撃たれ死亡  
北京五輪開幕 冬季最多のメダルを獲得  
ロシアがウクライナ侵攻、首都キーウなどミサイルで攻撃

英國エリザベス女王が死去、96歳  
J1磐田、清水がJ2降格、藤枝はJ2昇格

台風8号、15号が猛威 風水害により大きな被害

・ 新型コロナ5類移行、インフルエンザ並みに  
・ G7広島サミット、首脳らが原爆記念館訪問  
・ 福島第1原発の処理水海洋放出開始、中国が反発  
・ 第5回ワールド・ベースボールクラシック(WBC)で日本が3度目の優勝  
令和6年1月1日M7・6能登半島地震発生

・ 国土地理院 約60年ぶりに浜名湖・猪鼻(いのはな)湖の湖沼調査実施  
過去から未来へのなぐ災害教訓のバトン自然災害伝承碑に関する手引き改定  
全国で1874基公開

国土交通省 全ての直轄土木業務・工事(小規模なもの等は除く)にBIM CIMを原則適用

---

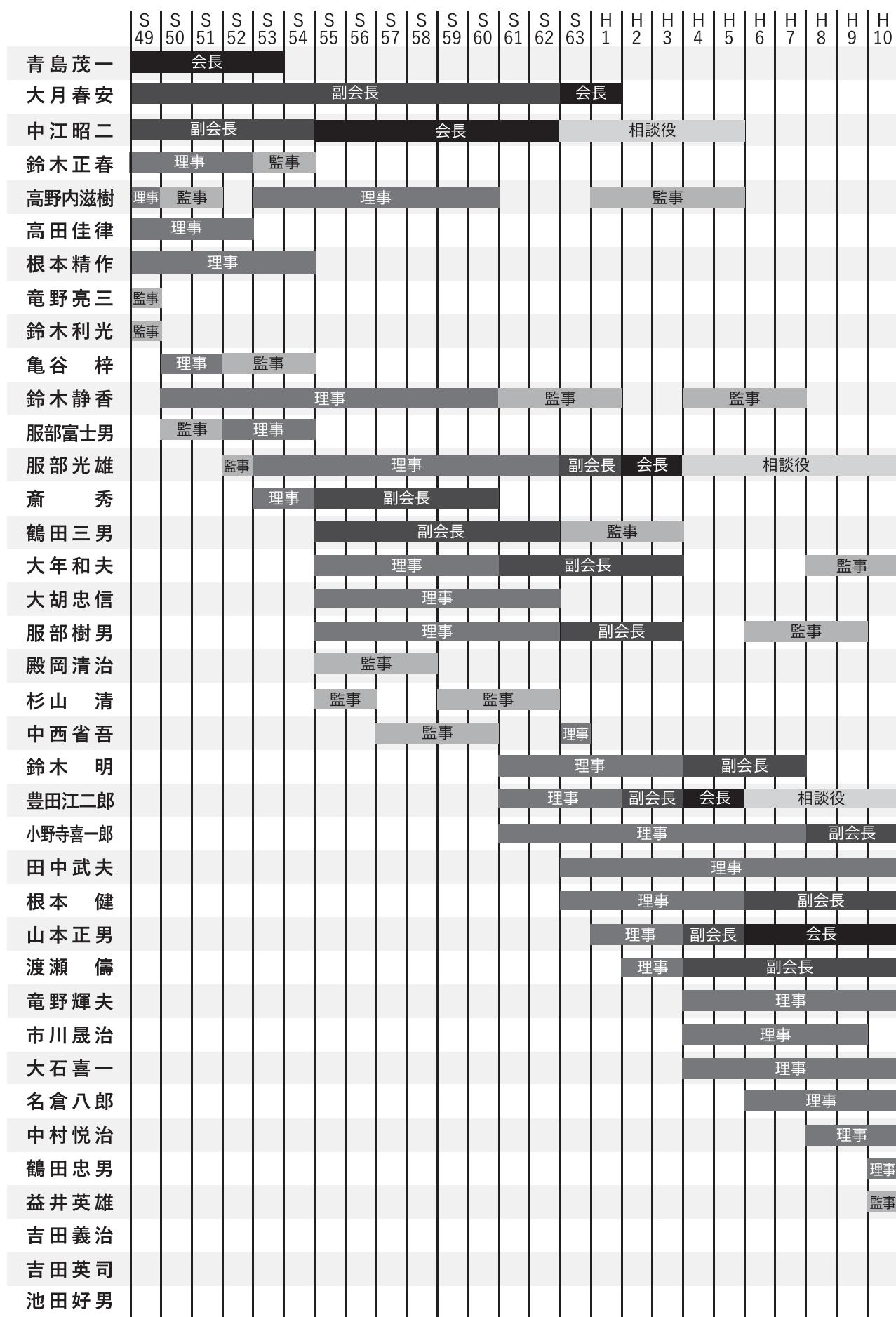
第  
3  
章

---

資  
料

H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	R 2	R 3	R 4	R 5
相談役																						青島茂一		
監事																						大月春安		
																						中江昭二		
																						鈴木正春		
																						高野内滋樹		
																						高田佳律		
																						根本精作		
																						竜野亮三		
																						鈴木利光		
																						亀谷梓		
																						鈴木静香		
																						服部富士男		
																						服部光雄		
																						斎秀		
																						鶴田三男		
																						大年和夫		
																						大胡忠信		
																						服部樹男		
																						殿岡清治		
																						杉山清		
																						中西省吾		
																						鈴木明		
																						豊田江二郎		
																						小野寺喜一郎		
																						田中武夫		
																						根本健		
																						山本正男		
																						渡瀬傳		
																						竜野輝夫		
																						市川晟治		
																						大石喜一		
																						名倉八郎		
																						中村悦治		
																						鶴田忠男		
																						益井英雄		
																						吉田義治		
																						吉田英司		
																						池田好男		

## 歴代役員の変遷





## 歴代役員の変遷

	S 49	S 50	S 51	S 52	S 53	S 54	S 55	S 56	S 57	S 58	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10
松金健一																									
杉山 博																									
大鐘祥太郎																									
服部政美																									
土田 勇																									
勝間田一博																									
花村好治																									
清水 忍																									
森崎祐治																									
佐藤安二																									
鍋田芳久																									
松永伸夫																									
小木野安孝																									
中江章喜																									
藤山義修																									
鈴木達美																									
亀谷寧一																									
木俣清一																									
遠藤喜徳																									
近藤拓己																									
宮島直久																									
小澤和宏																									
山村卓道																									
鍋田昌吾																									
松井藤雄																									
鈴木正明																									
斎 秀之																									
竹内豊和																									
勝間田賢一																									
服部剛明																									
牧田敏明																									
山田常吉																									
大野修司																									
山田鐵男																									
乗松登喜男																									
桑原 篤																									
望月良明																									
専務理事兼事務局長																									
専務理事兼事務局長																									
専務理事兼事務局長																									

# 委員会の推移と委員構成 平成26年度～令和5年度

**一 平成26年度・27年度**

## ● 総務委員会

- ・委員長 杉山博
- ・委員 大鐘祥太郎 森崎祐治 藤山義修

## ● 広報・経営改善委員会

- ・委員長 木俣清一
- ・委員 高柳壽一 後藤仁 殿村元秀

## ● 企画委員会

- ・委員長 近藤拓己
- ・委員 鈴木正明 服部剛明 戸塚徹

## ● 技術委員会

- ・委員長 亀谷寧一
- ・委員 小澤公平 松井藤雄 浅岡諭志

## ● 調査委員会

- ・委員長 鈴木達美
- ・委員 齋秀之 見崎康司 宮島直久

## ● 災害対策委員会

- ・委員長 鈴木達美
- ・委員 齋秀之 見崎康司 宮島直久

## ● 倫理委員会

- ・委員長 大鐘祥太郎
- ・委員 森崎祐治 藤山義修

## ● 積算システム運営委員会

- ・委員長 杉山博
- ・委員 大鐘祥太郎 森崎祐治 藤山義修
- ・委員 鹿谷寧一 鈴木達美

**一 平成28年度**

## ● 総務委員会

- ・委員長 杉山博
- ・委員 藤山義修 大鐘祥太郎 鈴木達美

## ● 広報・経営改善委員会

- ・委員長 小澤和宏
- ・委員 高柳壽一 後藤仁 竹内豊和

## ● 企画委員会

- ・委員長 近藤拓己
- ・委員 鈴木正明 服部剛明 戸塚徹

## ● 技術委員会

- ・委員長 亀谷寧一
- ・委員 小澤公平 松井藤雄 浅岡諭志

## ● 調査委員会

- ・委員長 鈴木達美
- ・委員 齋秀之 見崎康司 宮島直久

## ● 災害対策委員会

- ・委員長 亀谷寧一
- ・委員 小澤公平 松井藤雄 浅岡諭志

## ● 倫理委員会

- ・委員長 大鐘祥太郎
- ・委員 森崎祐治 藤山義修

## ● 積算システム運営委員会

- ・委員長 杉山博
- ・委員 大鐘祥太郎 鈴木達美
- ・委員 鹿谷寧一 宮島直久

**一 平成30年度・令和元年度**

## ● 総務委員会

- ・委員長 杉山博
- ・委員 藤山義修 山村卓道 宮島直久

## ● 広報・経営改善委員会

- ・委員長 小澤和宏
- ・委員 高柳壽一 浅岡諭志 竹内豊和

## ● 企画委員会

- ・委員長 近藤拓己
- ・委員 鈴木正明 服部剛明 田内得雄

## ● 技術委員会

- ・委員長 亀谷寧一
- ・委員 小澤公平 松井藤雄 浅岡諭志

## ● 調査委員会

- ・委員長 鈴木達美
- ・委員 齋秀之 見崎康司 石黒一彰

## ● 災害対策委員会

- ・委員長 亀谷寧一
- ・委員 小澤公平 松井藤雄 浅岡諭志

## ● 倫理委員会

- ・委員長 大鐘祥太郎
- ・委員 森崎祐治 藤山義修

## ● 積算システム運営委員会

- ・委員長 杉山博
- ・委員 大鐘祥太郎 鈴木達美
- ・委員 鹿谷寧一 宮島直久

## —令和2年度・令和3年度—

## ●総務委員会

・委員長 藤山義修

・委員 山村卓道 宮島直久 鈴木正明

## ●広報・経営改善委員会

・委員長 竹内豊和

・委員 市野篤史 浅岡諭志 牧田敏明

## ●企画委員会

・委員長 勝間田賢一

・委員 大井寿彦 服部剛明 木俣清一

## ●技術委員会

・委員長 亀谷寧一

・委員 大山弦史 小田稔彦 深民泰弘

## ●調査委員会

・委員長 齋秀之

・委員 土屋孝 伊藤孝浩 石黒一彰

## ●災害対策委員会

・委員長 松井藤雄

・委員 二村繁靖 奥平慎太郎 杉本洋

## ●倫理委員会

・委員長 山村卓道

・委員 宮島直久 鈴木正明

## ●積算システム運営委員会

・委員長 藤山義修

・委員 山村卓道 宮島直久 鈴木正明

亀谷寧一

齋秀之

## —令和4年度・令和5年度—

## ●総務委員会

・委員長 藤山義修

・委員 鈴木正明 服部剛明 牧田敏明

## ●広報・経営改善委員会

・委員長 竹内豊和

・委員 市野篤史 鶴田淳 石野直之

## ●企画委員会

・委員長 勝間田賢一

・委員 大井寿彦 荒山晃 田内尉晴

## ●技術委員会

・委員長 亀谷寧一

・委員 鈴木保宏 塚本好明 深民泰弘

## ●調査委員会

・委員長 齋秀之

・委員 土屋孝 伊藤孝浩 石黒一彰

## ●災害対策委員会

・委員長 松井藤雄

・委員 二村繁靖 奥平慎太郎 宮島直久

## ●倫理委員会

・委員長 鈴木正明

・委員 服部剛明 牧田敏明

## ●積算システム運営委員会

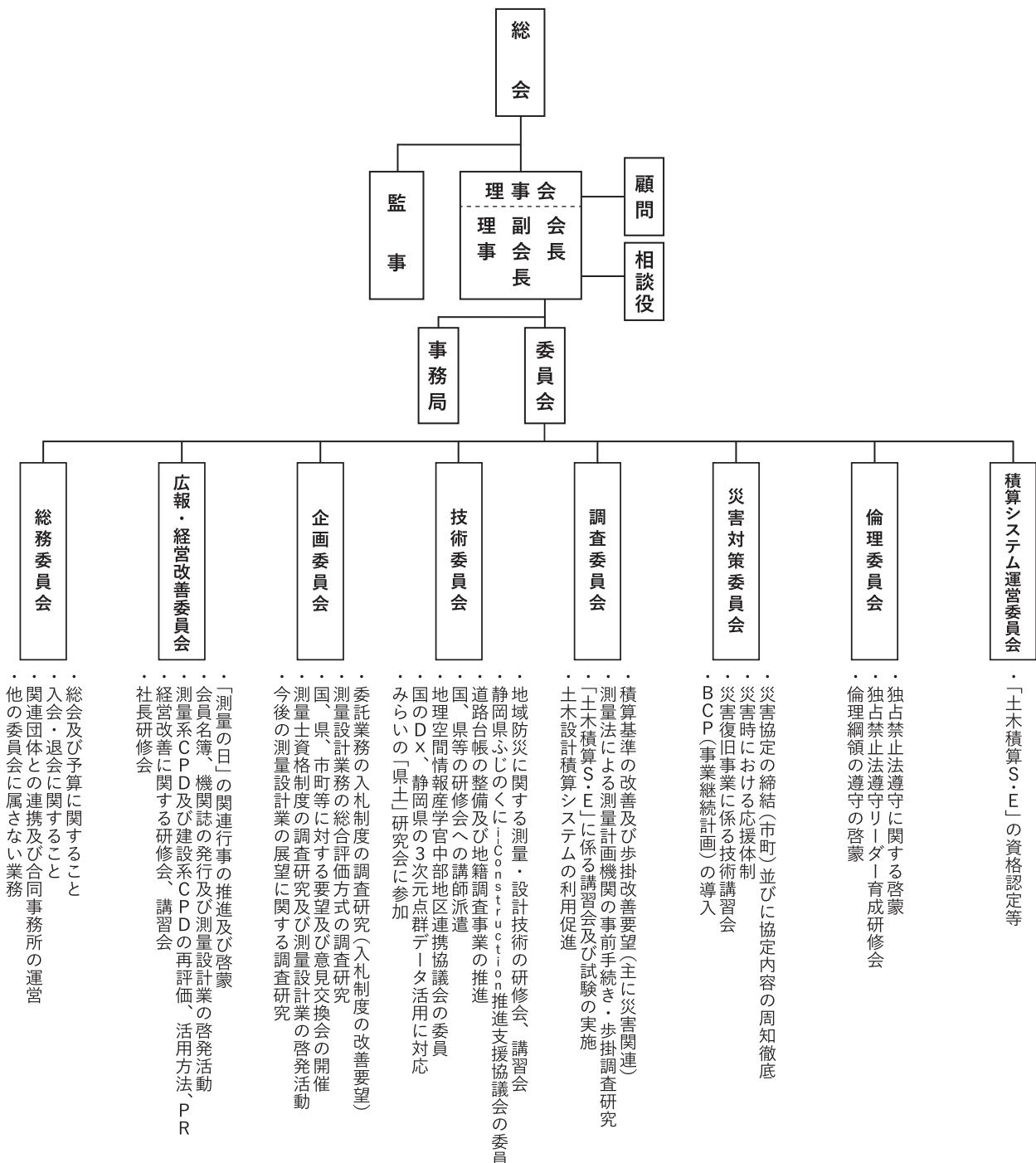
・委員長 藤山義修

・委員 鈴木正明 服部剛明 牧田敏明

亀谷寧一

齋秀之

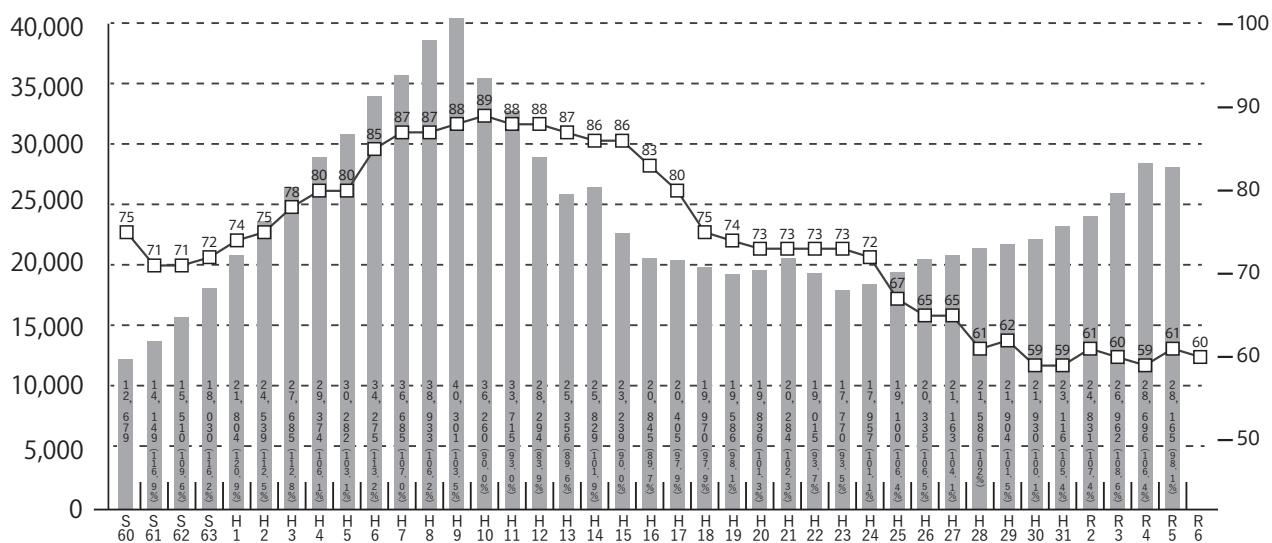
—協会組織図—



### 総売上高(兼業売上高含む)・会員数の推移

総売上高 / 単位・百万円 カッコ内は対前年比・%

### 会员数 / 单位：社



〒415-0035  
下田市東本郷1-19-4  
電話〈0558〉22-1511  
FAX〈0558〉23-4483  
E-mail  
u-soumu@windy-net.co.jp



代表取締役  
杉本 憲一

今年で創業65周年を迎えます。計測技術又は点群処理等、この十年間で著しい進歩・変化がありました。弊社は測量技術をより一層向上させ、測量に密接に関わる周辺調査業務のシステム開発・機器の開発に積極的に取り組み、現代社会の多様なニーズに応えられる様、常に挑戦する人間集団を目指します。

(株)ウインディーネットワーク

## 東部

会員

覧

60社

令和6年4月1日現在

〒411-0804  
三島市多呂128  
電話〈055〉977-8080  
FAX〈055〉977-8600  
E-mail  
nimura@shizuoka-con.co.jp



代表取締役社長  
一村 繁靖

静岡コンサルタンツ(株)

〒415-0035  
下田市東本郷1-9-10  
電話〈0558〉22-0550  
FAX〈0558〉22-5975  
E-mail  
w.somu@w-sok.co.jp



(有)渡辺測量事務所  
取締役社長  
櫻井 廣信

弊社は来年創立70周年を迎えます。社はである「誠実」を旨とし、会社一丸となって、責任ある高度な専門技術を提供します。国土強靭化や環境対策を始め、社会の要望に応え近年の情報化社会の中、今後ますます進むIT化の流れに乗って、測量設計業協会とともに引き続き自由な発想と感謝の気持ちをもって、地域社会に貢献できるよう努めて参ります。

弊社は創業56年を迎えることが出来ました。公共業務を柱に技術力の向上を図った結果、静岡県交通基盤部優良業務委託表彰を受賞することが出来ました。今後も技術研鑽に務め、更なる飛躍を目指します。これからも社会資本整備に果敢に取り組み地域貢献に務めます。

地域に貢献し未来をつくる  
静測協会員

〒410-2321  
伊豆の国市三福52-1  
電話 <0558> 76-7789  
FAX <0558> 76-7771  
E-mail  
rb.7789@izukyowa.co.jp



RBコンサルタント(株)  
代表取締役  
土田 哲

〒411-0822  
三島市松本8-2  
電話 <055> 977-6500  
FAX <055> 977-4310  
E-mail  
t596500@quartz.ocn.ne.jp



東亜測量設計(株)  
代表取締役  
水口 香織

〒411-0803  
三島市大場311-1  
電話 <055> 977-1488  
FAX <055> 977-4594  
E-mail  
eigyo@suzukisekkei.co.jp



鈴木 聰美  
代表取締役

当社は1999年に創業した会社です。調査測量、設計、許認可申請、登記までワンストップで提供する地域密着型企業です。常に最新技術を導入するとともに社会基盤整備に必要不可欠な測量、土木設計のスペシャリストを育成し、研鑽を重ねてまいります。まちづくりは測量から始まります。私たちは事業を通じてまちづくりの一端を担い、これからも地域に貢献してまいります。

創業以来、地域密着型の建設コンサルタントとして“確実な技術の下で信頼される成果を提供する”を社是に据え、社員一同日々緻密な研鑽を心掛けてまいりました。昨今、我々の分野においても、AI技術の活用等々デジタル化が急速に進んでおり、従来の経験重視に加え、新たな人間力の活用が必須となっています。昨年3代目社長を引継いだ事から、今後の時代要請に則した成果が提供出来るよう、働き易い職場環境の構築に女性の視点を重視して取り組んでまいりたいと思っております。

昭和28年の創立以来70余年、「誠実と技術力の向上をもって地域社会貢献の一端を担う」の理念のもと、主として官公庁発注の建設コンサルタント業務に携わり、たゆまぬ努力と情熱をそいでまいりました。今後も大きな変革の中で多様化する業務に対して日々の研鑽を怠らず社会貢献すべく努めてまいります。

〒419-0125  
田方郡函南町肥田193-10  
電話 <055> 978-3984  
FAX <055> 979-4730  
E-mail  
touwakk@po2.across.or.jp



東和設計(株)  
代表取締役  
稲葉 洋行

〒410-2401  
伊豆市牧之郷53-6  
電話 <0558> 74-1212  
FAX <0558> 74-1213  
E-mail  
nakano.s@dometechno.co.jp



(有)中野測量設計事務所  
代表取締役  
中野 順一

〒410-2211  
伊豆の国市長岡359-2  
電話 <055> 947-2061  
FAX <055> 947-2081  
E-mail  
info@sogokaihatugiken.com



渡邊 正美  
代表取締役

弊社は昭和47年創業以来、常に顧客の要請に誠実に対応することをモットーとして参りました。変化する時代に即したサービスを提供するため、新しい技術の習得にも積極的に挑戦し、社会と共に成長し続ける会社を目指します。これまで培った知識と技術をさらに磨き、より一層、顧客の期待に添えるよう日々努力してまいります。

協会創立50周年おめでとうございます。当社は創業20年に渡り、伊豆市を拠点とし測量業務に携わって参りました。地元に密着し、地域社会の発展の為に、今後も社員一同技術向上に努め、ドローン活用などニーズの多様化に対応出来るよう努力して参ります。

弊社は昭和58年の創業以来、常に日々技術の研鑽に努め、顧客の立場にたって誠意と努力をもって成果品の提供をしてまいりました。今後も従業員一同、安全・安心に生活が出来る社会資本の整備に貢献するような会社を目指してまいります。

鈴木設計(株)

綜合開発技研(株)

〒410-0306  
沼津市大塚871-2  
電話〈055〉967-5544  
FAX〈055〉967-5509  
E-mail  
san-ai@pop21.odn.ne.jp

(株)  
サンアイ技研

鈴木  
元好  
代表取締役

〒410-0003  
沼津市新沢田町24-27  
電話〈055〉922-2601  
FAX〈055〉923-1068  
E-mail  
kenyuu@jasmine.ocn.ne.jp

(株)  
建友

代表取締役  
諒訪部  
政譽



〒410-0022  
沼津市大岡497  
電話〈055〉922-3977  
FAX〈055〉921-9899  
E-mail  
kyumetoru@thn.ne.jp

キュウメートル(株)

代表取締役  
望月  
信助



当社は「球米(地球を測る)=キュウメートル」の名の下で、創業以来技術の向上に努めてまいりました。調査測量から設計施工までをスムーズに着手できるよう、現場を熟知した上で業務を行っております。「現場を知らぬもの、設計すべからず」「設計を知らぬもの、施工すべからず」を社訓とし、今後も技術開発に取り組んでまいります。

〒410-0811  
沼津市中瀬町5-1  
電話〈055〉931-0625  
FAX〈055〉932-7170  
E-mail  
sai@tokai-cc.co.jp

東海建設コンサルタント(株)

代表取締役  
齋秀之



当社は、1967年10月6日に設立され57年の歴史を持ち県内の公共事業に携わってまいりました。関係各所の皆様に支えられご指導戴いた賜物と思っております。当初測量から始まり橋梁、道路、河川砂防、農業土木、都市計画、下水道、地質調査と業務内容も増やして来ました。今後も技術力の研鑽に努め安全・安心な地域づくりに貢献して行く所存です。

〒410-0001  
沼津市足高547-2  
電話〈055〉924-2801  
FAX〈055〉924-2803  
E-mail  
shin-nihon@snsk.jp

新日本設計(株)

代表取締役  
門奈英治



我社は「心地良い環境、住みよい街づくり」の実現のため日々尽力しています。創立より40年、目まぐるしく変化する状況の中で、変わらぬ信念と共に時には苦難に直面しながらも成長を続けてきました。これからも、変化を恐れない柔軟さと変わらぬ信念をもち、地域に根ざす建設コンサルタントの存在意義を高められるよう、新たな街づくりに挑戦していきます。

〒410-0053  
沼津市寿町5-3  
電話〈055〉922-1211  
FAX〈055〉921-8190  
E-mail  
soumu@shintoh-sd.co.jp

伸東測量設計(株)

代表取締役社長  
高橋誠



弊社はお客様、地域の方々、社員を大切にし、積み重ねた測量設計技術を通じて安全で豊かな地域社会の創造に貢献します。お客様のニーズを理解し高品質のサービスを提供することで、建設コンサルタントとして信頼されるよう努めてまいります。また、社会が求める技術力と提案力を日々研鑽して人々の暮らしに役立つことを通じてやりがいと魅力のある企業を目指します。

〒412-0045  
殿場市川島田598-1  
電話〈0550〉70-9595  
FAX〈0550〉70-9596  
E-mail  
soumu@chuou-s.com



田中  
弘文  
代表取締役

弊社は昭和57年創業以来、多くの方々のご支援を賜り、県東部を中心に測量・調査・設計業務に携わって参りました。お客様の要望には迅速かつ正確、感謝の気持ちを忘れることなく土木技術を提供する事が信頼向上に繋がると考え日々取り組んでおります。培ってきた経験、そして技術力の更なる向上を目指し、今後も地域社会の発展に貢献できる企業として努力して参ります。

〒410-0822  
沼津市下香貫七面1133-1  
電話〈055〉960-9125  
FAX〈055〉934-1666  
E-mail  
t.j-numazu@cy.tnc.ne.jp



高木  
信  
代表取締役

〒410-0022  
沼津市大岡2240-16  
電話〈055〉921-8053  
FAX〈055〉924-8122  
E-mail  
soumu@tohnichi-net.co.jp



芹澤  
秀樹  
代表取締役

弊社は平成5年設立、創業30年を迎える昨年度に入会をさせていたいた建設コンサルタントです。社会資本整備に携わり、官公庁及び民間企業様に各分野で豊富な知識と技術力を提供することで多くの信頼をいただいております。今後も快適で、より安全な地域社会の発展のため、総合的な技術力の向上に努めて参ります。

弊社は、1965年の創業以来、地域に根ざした企業として、多くの皆さまのご支援を賜り、様々に変化する社会や地域ニーズに応え、社会の安定の維持に努めてまいりました。そして、来年創業60年を迎える中で、測量・設計・地質・補償に地理情報を加えたこれまでの技術力にさらに磨きをかけ、社会資本整備をとおした『持続可能な地域社会』の実現に貢献することをめざしてまいります。

〒412-0045  
御殿場市川島田1921-4  
電話〈0550〉89-5570  
FAX〈0550〉89-3192  
E-mail  
eigyo@sur-c.co.jp



勝間田  
賢一  
代表取締役

協会設立50周年おめでとうございます。静測協の歩みに少し遅れ、弊社は本年5月で創立48年を迎えることができました。その間、弊社が運営できたのも、ひとえに当協会や歴代役員の方々の協力や指導があってのことだと社員一同大変感謝しております。今後も協会と共に歩み、自社の技術を静岡県や県内市町の発展と繁栄に役立てたいと考えております。

〒412-0011  
御殿場市古沢613  
電話〈0550〉83-1501  
FAX〈0550〉84-1542  
E-mail  
k-kobayashi@kobayashi-giken.co.jp



小林  
和哉  
代表取締役

創業以来、顧客の要望を叶えるべく技術及び知識の向上に努力してまいりました。地域の皆様に支えられ、現在も仕事をさせていただいていると感謝しております。

技術の進歩や激甚化する災害など、業界を取り巻く状況は大きく変化しておりますが、これからも地域の発展に測量設計業を通じて貢献していきます。

〒412-0045  
御殿場市川島田136-10  
電話〈0550〉82-2596  
FAX〈0550〉82-2031  
E-mail  
soumu@a-act.co.jp



芹澤  
浩之  
代表取締役

“技術を通して社会への貢献及び企業経営の民主化と人間尊重”の理念のもと、皆さんに信頼される企業であり続けられるよう、社員一丸となって、品質向上、安心安全で生産効率の高い職場作りを目指します。今後も社会資本整備に貢献し、地域社会が発展するよう取り組んで参ります。

(株)  
東日

(株)  
アクト

〒416-0945  
富士市宮島28-43  
電話〈0545〉63-4592  
FAX〈0545〉63-7914  
E-mail  
fuji-aoki@ka.tnc.ne.jp



代表取締役  
高柳  
壽一

弊社は、昭和42年に富士市で創業し、今日まで測量・設計・建設コンサルタントの分野で地元のインフラ整備を行ってまいりました。今後はこれら業務の高度化・多様化を目指して、地元地域の向上に尽くしてまいりたく、努力する所存であります。

〒411-0941  
駿東郡長泉町上土狩451-10  
電話〈055〉987-2552  
FAX〈055〉987-5625  
E-mail  
tosei@lilac.ocn.ne.jp



代表取締役  
鈴木  
正明

当社は昭和47年の創業から50年を超え、協会より少し先輩です。私たちTosei Sokuryou Sekkiは「信頼できる(Trusty)会社」「誠実な(Sincere)会社」「満足できる(Satisfactory)会社」を営業目標に、お客様に愛される会社としてこれからも前に進みます。

〒412-0018  
御殿場市山之尻1202-2  
電話〈0550〉82-3351  
FAX〈0550〉82-2197  
E-mail  
g-meter@takisoku.co.jp



代表取締役  
滝口  
豪

弊社は昭和50年創業以来、測量・設計・調査及び補償コンサルタント業務に携わり現在に至っております。社会資本整備事業を担う会社としての責務を果たすため、常に技術の研鑽に努め、次の世代が安心して暮らせる街づくりに貢献できるよう努めていきたいと思います。

〒417-0055  
富士市永田町1-122  
電話〈0545〉51-0867  
FAX〈0545〉51-2284  
E-mail  
somu@fujisokuryou.co.jp



代表取締役  
杉山  
博

我が社は「社会人として育つ」を当社の根幹たる企業理念として、自ら学び、挑戦・成長を続けて、周囲と協調し課題を解決できる「人材」育成に取り組んでいます。静岡県の地形的特徴を十分理解して技術力に磨きをかけて、今後も地域の発展を目指して「次の50年に向け信頼の積重」を社員一同の合言葉にして前進してまいります。

〒416-0909  
富士市松岡459-1  
電話〈0545〉61-7806  
FAX〈0550〉64-8406  
E-mail  
tsp-co@vesta.ocn.ne.jp



代表取締役  
土屋  
孝

顧客の要請に基づき、社業を通して豊かな社会づくりに貢献していく事を第一とし、技術の開発と経営の革新に努めてまいります。また今後のインフラ整備におけるデジタル化に関する方向性を見定め、防災・減災への貢献と自然環境の保全にも対応し、持続可能な社会の実現に取り組んでいきたいと考えております。

〒412-0045  
御殿場市川島田136-10  
電話〈0550〉82-2596  
FAX〈0550〉82-2031  
E-mail  
soumu@a-act.co.jp



代表取締役  
鈴木  
淳

弊社は主に富士市を中心とした岳南地区で70年の歴史を刻んで来ました。その間、常に変わることなく業務を通じて人々の快適な暮らしを創造するインフラストラクチャーの整備に協力し続けてまいりました。そして今後も地域特性を理解し、自然災害・環境への備えを進めるとともに、官民と連携をしながら地域が発展する為、快適な暮らしを創造する為、魅力ある街づくりに貢献できる企業を目指します。社は豊かで快適な社会の構築を推し進める為にも私達業務のIT化・DX化を行い、未来を創造したいと考えます。

〒419-0312  
富士宮市下稻子979-1  
電話〈0544〉29-3260  
FAX〈0544〉29-3261  
E-mail  
fuji-510@circus.ocn.ne.jp



富士エステート測量(株)  
代表取締役  
後藤  
真典

弊社は、平成2年設立以来、富士宮市を中心とし、県内各所で公共測量及び測量設計・コンサルタント業を行っている会社です。長年の経験と専門知識を活かし、正確な情報と信頼性のあるサービスを提供する事により地域社会の基盤造りに貢献しております。更に、技術の進化に対応していく事を心掛け、お客様と共に歩き、地域社会の発展に貢献する事を目指しております。

〒418-0022  
富士宮市小泉468-1  
電話〈0544〉26-5191  
FAX〈0544〉26-8969  
E-mail  
fujisekkei@fujiaarchitect.co.jp



富士設計(株)  
代表取締役社長  
小野寺  
敦嗣

私たちは、流れに向かって休むことなく川上を目指して泳ぐめだかの集まりです。常に向上心を持ち、視座を高く未来を見据え、"いま"を大切に生きてていきます。スイマーのように社員一丸となって、社是の『Draw better future』を体現するために、3D計測事業を軸に新技術を取り入れる事に注力し、更なる地域貢献に尽力していきます。

〒418-0063  
富士宮市若の宮町732  
電話〈0544〉27-8424  
FAX〈0544〉24-4013  
E-mail  
tougikai@mub.biglobe.ne.jp



東海技術開発(株)  
代表取締役  
遠藤  
米子

昭和40年に富士宮市に創業し地域と社会への貢献を一番に考え努力してまいりました。今後も思いは変わらず日々精進していきたいと考えております。また地方の技術者不足が騒がれております事も鑑み今以上に人と技術者を育て、弊社を育ってくれた地元に恩返しが出来るよう地域社会を支える企業の一つでありたいと思っております。今後とも宜しくお願ひ致します。

〒420-0816  
静岡市葵区沓谷5-8-18  
電話〈054〉261-4885  
FAX〈054〉263-0287  
E-mail  
sazuka@kokudo-k.com



国土計画(株)  
代表取締役  
佐塚  
弘行

大切な不動産を扱う仕事です。  
誠実をモットーにしています。

〒424-0064  
静岡市清水区長崎新田123  
電話〈054〉345-2155  
FAX〈054〉348-2585  
E-mail  
soumu@kencon.jp



(株)建設コンサルタントセンター  
代表取締役  
小田  
秀昭

翌年に創立60周年。「いのちとくらし 地球と共に」の理念のもと、官公庁発注の建設コンサルタント業に携わり、国土強靭化、地域を支える社会資本整備、維持管理・長寿命化に誠実に対応し、新技術の研鑽に邁進してまいりました。これからも社員と共に、地域の皆様と共に、変化に強い企業と地域を目指してまいります。

中  
部

〒422-8072  
静岡市駿河区小黒3-6-23  
電話〈054〉282-4026  
FAX〈054〉284-6651  
E-mail  
soumu@suruga-con.co.jp



代表取締役  
亀谷  
寧一

弊社は創立64年を迎え、測量・建設コンサル・補償コンサルの三部門からなる業務を行い、地域社会に貢献して参りました。近年のDX技術発展に伴い、陸海の三次元高精度測位技術を基に、地域の防災減災政策に取り組み、安全安心な環境創造に貢献して参ります。

(株)スルガコンサル

〒420-0006  
静岡市葵区若松町41-1  
電話〈054〉252-1820  
FAX〈054〉252-1840  
E-mail  
info@shizuoka-showa.co.jp



代表取締役社長  
荒山  
晃

昭和設計株式会社は、1950年6月創業以来、静岡県を中心とした地域密着型の総合建設コンサルタントとして、安全・安心で豊かな社会資本整備を目指し、地域に貢献して、これまで発展・成長することができました。私たちが大切にしている「つながり」をもって、果敢に「挑戦」し、「変革」を追い求めながら地域社会に貢献する努力を続けて参ります。

〒420-0913  
静岡市葵区瀬名川3-19-1  
電話〈054〉262-2819  
FAX〈054〉264-0850  
E-mail  
soumu@toshi-sekkei.co.jp



代表取締役  
中村  
克行

『自然を愛し、人を愛し、仕事を愛す。』

私たちは、地域に根ざした企業として地域社会に貢献し、自然と融合した豊かなまちづくりのエキスパート集団として、常に一人ひとりが、自己の能力の向上に努め、絶えず挑戦し続ける人間集団である。を社是として営業活動を行っています。

(株)  
静岡都市設計

〒422-8046  
静岡市駿河区中島626-9  
電話〈054〉283-9130  
FAX〈054〉283-9131  
E-mail  
mail-Info@top-engi.co.jp



代表取締役  
小幡  
晴代

測量設計業を取り巻く状況は日々加速度を増しつつ、激流のごとく変化を進めていっています。気候変動による災害リスクの増大、担い手不足による技術の承継、日進月歩の進化を見せる新技術など様々な課題があります。一方で、私たちの業界が地域のインフラを支え、皆様の安全・安心な暮らしに寄与するものであるという立場は決して変わらないものだと思います。創業者であり先代の志を絶やすことなく、引き続き社員一同頑張ってまいります。これからもご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

(株)トップエンジニア

〒420-0813  
静岡市葵区長沼524-1  
電話〈054〉261-1555  
FAX〈054〉264-1039  
E-mail  
soumu@tsurucon.co.jp



代表取締役社長  
鶴田  
淳

弊社は測量と設計の技術を売る会社です。おかげさまで弊社も50周年を迎えることができました。公共事業は公共の福祉のためにある仕事です。これからも、仕事に誇りをもって参りたいと思います。今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

〒420-0034  
静岡市葵区常磐町3-4-18  
電話〈054〉255-2305  
FAX〈054〉255-2304  
E-mail  
kkdaigo@oregano.ocn.ne.jp



代表取締役  
大胡  
忠信

昭和41年創業。土地家屋調査士、行政書士も営業。

(株)  
大胡

〒425-0066  
焼津市大島206-4  
電話 <054> 624-0777  
FAX <054> 623-8630  
E-mail  
ash-cnsl@alto.ocn.ne.jp



代表取締役  
見嶋 俊弘

〒420-0052  
静岡市葵区川越町3-9  
電話 <054> 251-2323  
FAX <054> 253-1213  
E-mail  
info@hattori-eng.co.jp



代表取締役  
服部 剛明

〒420-0801  
静岡市葵区東千代田1-6-20  
電話 <054> 261-6956  
FAX <054> 262-1429  
E-mail  
nichiri@ruby.ocn.ne.jp



代表取締役  
山田 巧

創業して53年が経ち、地元静岡県の測量・設計業務を中心に営んでまいりました。地域と共に、生活に必要な公共インフラを作り守っていくために努力を続け、昨今のICT化に弊社も時代の流れに乗り遅れないように技術の向上をかけ、少ない人数で効率よく作業が行えるよう、社員一丸となってベストを尽くす企業であり続けます。

昭和28年の創業から培われました技術や経験を元に、総合建設コンサルタントとして「人×技術」で難題を解決していきます。地域の人々の安全・安心を守るため、測量・設計・補償業務などを通じ人間力と技術力で、地域社会に貢献できる企業としてまい進してまいります。

弊社は昭和40年に創立し、地域に密着した建設コンサルタントとして、地域社会の発展に貢献して参りました。地域の皆様が今まで以上に、安心して生活できる街づくりを追及していくことを常に考えております。会社の方針として、「創意・熱意・誠意・品質」を基本理念とし、地域の皆様に信頼される会社として邁進していく所存です。

〒427-0057  
島田市元島田9608-7  
電話 <0547> 37-1217  
FAX <0547> 37-1219  
E-mail  
soumu@k-green.co.jp



代表取締役社長  
坂口 茂巳

〒427-0042  
島田市中央町31-10  
電話 <0547> 36-0706  
FAX <0547> 36-1153  
E-mail  
ogane@ogane.co.jp



代表取締役  
内記 照宣

〒426-0017  
藤枝市大手2-10-8  
電話 <054> 643-7312  
FAX <054> 644-6661  
E-mail  
info@okudaira.jp



代表取締役  
奥平 憲太郎

弊社は1989年創業以来、公共事業を主とし、測量、土木設計を通じて社会資本整備に貢献してまいりました。今後も地域社会をより良くすべくニーズに合う様測量、土木技術はもちろん、維持管理技術、環境やエネルギー、地域活性化支援など新たな分野にも積極的に関わり、豊かで持続可能な社会の実現に努めてまいります。

弊社は技術誠意をもって地域社会の調和ある発展と安心安全社会の構築に寄与するという理念の基、創業より50年地域社会の貢献に努めてきました。地球温暖化に伴い災害も激甚化し迅速かつ効果的な対応が求められています。先端技術を活用して被災状況調査などの初動対応、災害に強いインフラ構築するための設計方針の取り入れ等、災害対応力強化を図って参ります。

弊社は森林土木コンサルタントを主たる業務として創業以来、誠意と信念を持って事業活動を行っております。昨今ではドローンを活用した調査が中心となっており、最新の技術を使って業務を遂行しております。私どもの挑戦は、地域のみなさまとより暮らしやすい環境を提案することです。多くの素晴らしい仲間達と、美しい世界をつくっていけたらと、そう願っています。

## (株)日本地理コンサルタント

## (株)奥平測量設計事務所

〒428-0104  
島田市川根町家山1138-3  
電話〈0547〉53-2589  
FAX〈0547〉53-4141  
E-mail  
soumu@matusoku.co.jp



代表取締役  
松井  
藤雄

昭和43年(1968)創業以来、官公庁発注の測量・設計・補償業務に携わり、地域社会に貢献できる企業を目指しています。依頼先の信用・信頼に応えられるよう時代の流れに従っての技術研鑽に努めているところです。これからも更なる発展を望み邁進していく所存です。

(株)  
松井測量設計事務所

〒421-0422  
牧之原市静波1785-9  
電話〈0548〉22-4771  
FAX〈0548〉22-5292  
E-mail  
futaba-s@ninus.ocn.ne.jp



代表取締役  
泉地  
達也

我社は創業48年に及ぶ実績と経験を基に、これからの人団減少社会に対応すべく日々努力を重ねております。そして、地域の安全・安心を守ることは我々土木技術者にとって責務であると思っております。そこで、発注者のニーズに対応すべく技術力の向上を図り、より良い社会発展のため、社員一同全力を尽くしまいりたいと考えております。

(有)  
二葉測量設計事務所

〒427-0011  
島田市東町636  
電話〈0547〉35-5081  
FAX〈0547〉35-5082  
E-mail  
fukusoku@earth.ocn.ne.jp



代表取締役  
福島  
吉衛

弊社は昭和61年創業以来、常に顧客の立場にたち、経験と技術力をもとに住宅用地、商業用地、工業用地などの土地開発設計や造成設計を中心に事業を展開しています。また、地域に貢献することを責務と考え、官公庁や民間開発と様々な分野で日夜、業務にまい進していきます。

(株)  
FB-Jコンサルタント

〒433-8112  
浜松市中央区初生町978-12  
電話〈053〉437-0333  
FAX〈053〉437-0787  
E-mail  
giken@key.ocn.ne.jp



代表取締役  
宮島  
直久

弊社は昭和45年に設立し、測量、補償コンサルタント、建設コンサルタント業を、営んでおります。この業務は知的集約産業であり、社員一同誠実・信頼を旨とし、正確で環境に配慮した成果を提供し、社会貢献をしております。

(株)  
技研測量

〒435-0035  
浜松市中央区西伝寺町298  
電話〈053〉411-6500  
FAX〈053〉411-6501  
E-mail  
sugimoto-01@kyowaconsultant.co.jp



代表取締役  
杉本  
洋

総合建設コンサルタントとして創業以来半世紀余、社会基盤整備のお手伝いをさせていただいております。わが国では気候変動の影響により自然災害が頻発し、激甚化しております。災害に強い強靭な国土づくりが緊急的な課題となっております。地域の住民が安心して暮らすことができる安全で災害に強い街づくりを目指して豊かで潤いのある社会の実現に貢献してまいります。

(株)  
共和コンサルタント

西  
部

〒432-8042  
浜松市中央区上浅田2-5-10  
電話 <053> 453-1129  
FAX <053> 453-1316  
E-mail  
tonomura@beach.ocn.ne.jp



(株)  
殿村

代表  
取締役

殿村  
元秀

昭和57年殿村嘉秀により創立、平成9年株式会社殿村に改組し現在に至る。行政機関発注の測量設計調査業務に携わる一方、民間開発行為に伴う業務にも取組んでいます。令和6年1月、浜松市内に事業所を開設、事業拡大と人材の雇用を目指す。今後も若手技術者の育成を図るとともに、会社一丸となって、お客様のニーズに迅速かつ丁寧な対応を心掛けて参りたいと思います。

〒430-0946  
浜松市中区元城町222-2 元城ビル3-A  
電話 <053> 458-7080  
FAX <053> 458-7081  
E-mail  
honsha@chu-so-con.co.jp



(株) 中部綜合コンサルタント

代表  
取締役

豊田  
哲也

当社は昭和48年、上水道の専門コンサルタントとして歩みをはじめ、時代の要請に応え、土木や補償、測量や建築へと業容を拡大してまいりました。創業以来「誠心誠意」の社訓を実直に守り、安全なインフラの整備に携わっております。今後も地域の未来づくりに貢献できる存在たるべく、技術と心を磨いてまいります。

〒430-0939  
浜松市中央区連尺町314-31  
電話 <053> 415-8131  
FAX <053> 415-8143  
E-mail  
soumu-shouwag@basil.ocn.ne.jp



(株) 松和技研

代表  
取締役

木保  
清一

当社は、静岡県浜松市で道路や河川、上下水道などの設計・測量・調査を手掛けている建設コンサルタント会社です。1971年の設立以来、地元地域に根ざした公共事業を手掛け、多くのお客様の信頼と実績を積み重ねてまいりました。地元の官公庁を中心に多くの市町村から安定的に案件を受注しており、人々が安心して暮らせる環境づくりを進め、着実に事業を拡大しています。

〒430-0946  
浜松市中央区元城町216-19  
電話 <053> 454-5892  
FAX <053> 455-4619  
E-mail  
info@con-fujiyama.com



(株)  
フジヤマ

代表  
取締役

藤山  
義修

株式会社フジヤマは創業以来、半世紀以上にわたり社会基盤の整備に携わってきた静岡県最大手の「建設総合コンサルタント」です。現在では、社員数380名、売上高約65億円を誇ります。「測量・調査部門」「コンサルタント部門」「地理情報部門」の三部門を核に、本社を置く静岡県を中心に、関東圏から九州圏まで安全で快適な国土づくりに尽力しております。

〒433-8112  
浜松市中央区初生町899-2  
電話 <053> 439-6111  
FAX <053> 439-6129  
E-mail  
info@fujisougou.co.jp



不二総合コンサルタント(株)

代表  
取締役社長

牧田  
敏明

当社は昭和36年の創業以来「高品位な技術と人間性を高め、生命に優しい環境創造を通して社会に貢献する」を経営理念に事業を展開してきました。近年の激甚化する自然災害やインフラ施設の急速な老朽化、地方創生など様々な課題が直面する中、持続可能な社会資本の整備を通して、住民が安全で安心して生活できる社会を目指していきます。

〒433-8119  
浜松市中央区高丘北1-60-32  
電話 <053> 436-6255  
FAX <053> 436-6011  
E-mail  
nisin@kknissin.jp



(株) 日進

代表  
取締役

石黒  
一彰

創立36年「人とのつながりを大切に」を胸に精進してきました。近年、災害発生が多い中、迅速な対応が求められ、防災、減災への意識が高まっていると鑑み、新しい技術への挑戦を怠らず、地域の方々に「安心」を提供できるよう努めてまいります。

〒431-1414  
浜松市浜名区三ヶ日町三ヶ日756  
電話〈053〉525-0342  
FAX〈053〉525-1970  
E-mail  
takeuchisokuryou@myad.jp



竹内  
豊和  
代表取締役

**竹内測量設計(株)**

〒430-0907  
浜松市中央区高林3-13-25  
電話〈053〉401-2082  
FAX〈053〉401-2038  
E-mail  
info@t-survey-sp.com



大場  
保弘  
代表取締役

**田内測量設計(株)**

〒435-0004  
浜松市中央区中野町317-1  
電話〈053〉422-3040  
FAX〈053〉422-3028  
E-mail  
soumu@yoshida-con.net



石野  
直之  
代表取締役

**吉田測量設計(株)**

弊社は、昭和33年の創業以来、66年間にわたり時代の大きな変革期の中を地域に根ざした測量設計会社として、皆様のお役に立てるよう歩んでまいりました。今後も、地域社会に必要とされる企業であり続けるために、長年培ってきた技術と経験に加え、三次元測量等の最先端技術を積極的に取り入れながら、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

私は昨年10月に弊社代表取締役に就任しました。至らぬ点も多々あるかと存じますがさらなる社業発展に尽力いたします。当業界は生活インフラのひとつであり、日常から非常時まで生活に欠かすことができません。その職務を求められる場面も数多くあります。弊社がよりよい品質を提供することで、地域社会の生活に貢献できるよう努めてまいります。

弊社は昭和42年の創業以来、地元に密着しこつと実績を積んでまいりました。この半世紀以上の実績と信頼で築きあげた技術力及び創造力で地域社会の人々が安心安全な生活ができる環境づくりに努めています。

〒432-8001  
浜松市中央区西山町764-1  
電話〈053〉525-7172  
FAX〈053〉525-7173  
E-mail  
aosetu-m@nifty.com



青野  
充  
代表取締役

〒436-0021  
掛川市緑ヶ丘2-8-5  
電話〈0537〉28-8386  
FAX〈0537〉28-8387  
E-mail  
yuki-kageyama@keiprolog.co.jp



景山  
友貴  
代表取締役

**(株)ケイプロローグ**

昨年協会に入会しました、株式会社アクシスと申します。私が測量設計の業界に入った頃から27年以上経ちますが、技術の進化、環境への意識の高まり、人材確保と働き方改革や自然災害への対策の強化など業界も様々変化したと感じます。弊社もこの目まぐるしく変化する時代と共に、地域社会に貢献していきたいと考えております。

弊社は2011年5月に先代が掛川市に創立。2024年5月に14期目を迎えた会社です。『本気』『やる気』『元気』でいつも明るく、皆様から信頼される企業となり、社会発展の貢献を目標とし何より社員を大切にする企業を目指しています。どの場所、どの時代でも大切なもののへ一隅を照らす思いを大切に、より良き成果を届けられるよう日々努めてまいります。

## 創立50周年記念事業特別委員会

委員長	藤山 義修	
副委員長(総務部会担当)	総務部会委員	実行委員(中部支部担当)
服部 剛明	亀谷 寧一 松井 藤雄	鶴田 淳、荒山 晃、塚本 好明 伊藤 孝浩、奥平 慎太郎
副委員長(事業部会担当)	事業部会委員	実行委員(東部支部担当)
鈴木 正明	齋 秀之 勝間田 賢一	市野 篤史、大井 寿彦、鈴木 保宏 土屋 孝、二村 繁靖
副委員長(記念誌部会担当)	記念誌部会委員	実行委員(西部支部担当)
牧田 敏明	竹内 豊和	石野 直之、田内 尉晴、深民 泰弘 石黒 一彰、宮島 直久
専務理事 兼 事務局長	望月 良明	

### 編集後記

一般社団法人静岡県測量設計業協会の50周年記念誌の発行に当たり、静岡県知事を賜り、装丁に一段と輝きと重厚さが増しましたこと、まず以って厚くお礼申し上げます。

当協会が、昭和49年6月創立以来長きに渡り、協会活動を推進して来られたのも、関係官庁様はじめ、当協会諸先輩並びに地域の方々の絶大なるご支援ご協力の賜と感謝申し上げます。

近年における協会を取り巻く環境は、激甚化する自然災害への対応や、インフラ施設の老朽化対策、少子高齢化による担い手確保や、働き方改革への対応、さらには、業務のデジタル化による新たな技術力や設備の導入など、様々な課題に直面しております。当協会も、こうした課題に対応するためには、静岡県をはじめ、各市町との災害協定を締結し、社会資本整備を通して、住民の安全・安心の向上に貢献するとともに、小学生を対象とした地図教室や技術研修会、関係官庁との意見交換会など、様々な活動に取り組んで来ました。

結びに、創立50周年の長きに渡り協会発展のためにご指導ご協力を賜りました関係官庁並びに関係諸団体の皆様には、引き続きご愛顧頂くとともに、当協会のますますの発展と会員各社の皆様のご健勝を祈念します。編集後記といたします。

創立50周年記念事業特別委員会副委員長  
記念誌部会長 牧田敏明

### 一般社団法人 静岡県測量設計業協会 創立50周年記念誌

#### 参考文献

- ・ 鈴与220年史(つなごうともに未来へ)
- ・ 一般社団法人全国測量設計業協会連合会
- ・ 「創立50周年記念誌」
- ・ 一般社団法人静岡県測量設計業協会
- ・ 「創立40周年記念誌」
- ・ 建設関連団体ホームページ
- ・ 國土交通白書
- ・ 静岡新聞
- ・ 建通新聞

表紙写真	田内測量設計(株)	田内 尉晴
裏面記念マーク	鈴木設計(株)	佐々木亮

印 刷	編 集	發 行
(株) 静岡編集舎	（株）建通新聞社	一般社団法人 静岡県測量設計業協会
静岡市清水区草薙三丁目11-1	静岡市駿河区豊田一丁目9番34号	〒420-0858
電話 054-347-2511	電話 054-288-8121	静岡市葵区伝馬町9番地7 塚本ビル2階
池田屋印刷(株)	（株）建通新聞社	電話 054-252-0322
静岡市駿河区中原746-1	静岡市駿河区豊田一丁目9番34号	（株）静岡編集舎
電話 054-285-8275	電話 054-288-8121	静岡市清水区草薙三丁目11-1



